



第8回 投資主総会

September 27, 2025

いちごグリーンインフラ投資法人(9282)
Ichigo Green Infrastructure Investment Corporation
いちご投資顧問株式会社
Ichigo Investment Advisors Co., Ltd.





安心・安全な再生可能エネルギーの安定供給

「10か年長期業績予想」にて公表した分配金の確保を
念頭に置いた運用を徹底

- ✓ 台風や大雨などの自然災害による被害は大きくなる傾向
 - 発電所が所在する地域の気候や、地形に応じたきめ細やかな個別設計により、保有する太陽光発電施設に物的被害はなく、安定した収益を達成
- ✓ 再生可能エネルギー発電の出力制御
 - 2018年10月、九州電力管内で開始
 - 現在は東京電力管内を除く、各電力会社(9社)まで拡大
 - いちごグリーンにおいても、出力制御による逸失発電量が増加傾向
 - » オンライン出力制御工事を順次実施し、逸失発電量の低減を図る

概況(2024年6月期 / 2025年6月期決算の概要)

	2024年6月期(第9期)		2025年6月期(第10期)	
	実績	予想比	実績	予想比
発電量	3,253万kWh	-106万kWh	3,232万kWh	-110万kWh
営業収益	1,031百万円	-27百万円	996百万円	-56百万円
営業利益	233百万円	-19百万円	208百万円	-43百万円
経常利益	176百万円	-17百万円	155百万円	-41百万円
当期純利益	175百万円	-17百万円	154百万円	-41百万円
1口当たり当期純利益	1,705円	-171円	1,501円	-393円
1口当たり分配金	4,065円	±0円	3,885円	±0円
(1口当たり利益分配金)	1,705円	-155円	1,502円	-373円
(1口当たり利益超過分配金)	2,360円	+155円	2,383円	+373円
【ご参考】 1口当たりFFO(現金収入)	7,935円	—	7,802円	—

(注) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を日数による加重平均投資口数で除することにより算定しております。

決 議 事 項

招集ご通知の4頁から13頁をご覧ください。

第1号議案(招集ご通知 4ページから6ページ) ①

規約一部変更(投資対象および金銭の分配に関する規定の変更)の件

【変更の理由】

- (1) 信用組合および信用金庫から融資を受けるにあたり、「中小企業等協同組合法」および「信用金庫法」に基づく出資を行う必要があることから、本投資法人が借入れを行うために必要な場合にはかかる出資を行うことができることを明確化することを目的として、本投資法人の投資対象にこれらの出資を追加するもの(第31条第5項)

第1号議案(招集ご通知 4ページから6ページ) ②

- (2)「投資信託及び投資法人に関する法律」および「投資法人の計算に関する規則」の改正により、「出資総額等の合計額」の定義が規定されたことに伴い、本投資法人の規約においても同様の定義を規定するもの(第38条第1号)

執行役員1名選任の件

執行役員候補者

い と う な な こ
伊 藤 菜 々 子
【重任】

監督役員2名選任の件

監督役員候補者

の も と
野本

あ ら た
新 【重任】

ふ じ た
藤田

き よ ふ み
清文 【重任】

補欠執行役員1名選任の件

補欠執行役員候補者

か し わ ぎ

柏木

け ん す け

健佑

【重任】

補欠監督役員1名選任の件

補欠監督役員候補者

こ ん ど う ゆ う じ
近藤 祐史 【重任】

質 疑 応 答

議案の採決

第1号議案

「規約一部変更（投資対象
および金銭の分配に関する
規定の変更）の件」

議案の採決

第2号議案

「執行役員1名選任の件」

議案の採決

第3号議案

「監督役員2名選任の件」

議案の採決

第4号議案

「補欠執行役員1名選任の件」

議案の採決

第5号議案

「補欠監督役員1名選任の件」

Make More Sustainable

私たちは
人々の豊かな暮らしを支える
サステナブルインフラ企業です



サステナブルインフラ

いちご

(プライム 2337)



いちごウエイトリフティング部
三宅宏実コーチ・村上英士朗選手（タンク村上）



運用状況報告資料

September 27, 2025

いちごグリーンインフラ投資法人(9282)
Ichigo Green Infrastructure Investment Corporation
いちご投資顧問株式会社
Ichigo Investment Advisors Co., Ltd.



目次

□ いちごグリーン(9282)の概要	21
✓ いちごグリーンの社会的使命	22
✓ 2025年6月期 ポートフォリオ概要	23
✓ 10か年分配金予想の進捗状況	24
✓ 10か年予想 当初想定外事象①	25
✓ 10か年予想 当初想定外事象②	26
✓ 10か年予想 当初想定外事象③	27
✓ 10か年予想 当初想定外事象④	28
✓ 収益の安定化対策	29-32
✓ 潤沢なキャッシュ・フローを生み出す収益構造	33
✓ 2024年、2025年実績および2026年業績予想	34
✓ 今後の課題	35
✓ 上場インフラファンド全体で投資口価格が下落	36
✓ 上場インフラファンドの投資口価格の推移	37
✓ 「いちごJリーグ株主・投資主優待」制度	38
□ Appendix	39

いちごグリーン(9282)の概要

いちごグリーンの社会的使命

- わが国のグリーンエネルギー自給への貢献
- サステナブルな社会実現に貢献する投資商品の提供

■ いちごグリーン(9282)の特長

安定性と成長性	・ FIT(固定価格買取制度)により売電価格が20年間固定された太陽光発電所に投資 ・ 堅固な発電所と統合監視等のオペレーションによる長期安定運用 ・ 発電所は北海道から沖縄まで全国各地に所在し、地域分散投資を実現 ・ オペレーターの保証による収益のさらなる安定性確保
いちごグループの強みを活用	・ 発電所のオペレーターは、全国で64か所(風力発電所を含む)の発電所を開発、運営実績を有するいちごECOエナジー ・ いちごグリーンの資産運用会社は、いちごオフィス(8975)、いちごホテル(3463)等の運用受託による豊富な運用実績を有する
投資主価値の最大化	・ 発電所の設備は減価償却の対象であるため、発電所の現金収入が減価償却後の会計上の利益を大きく超えていることから、現金収入を積極的に「利益超過分配金」として投資主に還元

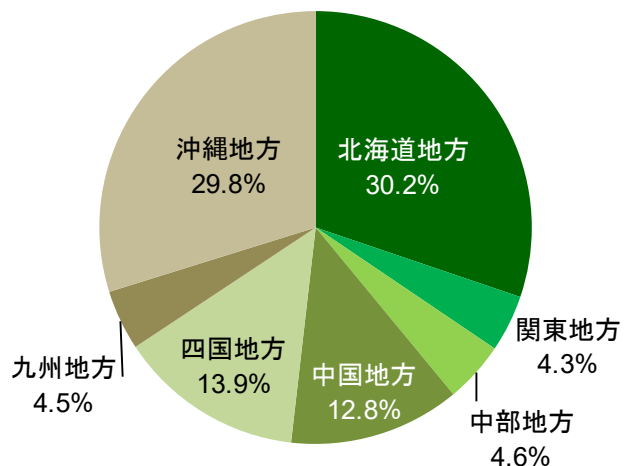
2025年6月期 ポートフォリオ概要

保有発電所数	発電所取得価格合計	パネル出力合計
15発電所	114億円	29.43MW
発電量実績	CO2削減量	世帯数換算年間発電量
3,232万kWh	15,822トン	10,775世帯

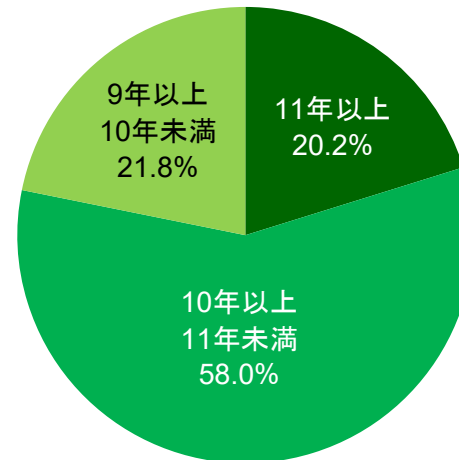
※ CO2削減量は、各発電所の実績年間発電量(2024年7月～2025年6月)を前提とした化石燃料火力発電対比による削減量(年間)

※ 世帯数換算年間発電量は各発電所の実績年間発電量(2024年7月～2025年6月)を前提とし、1世帯当たりの年間消費電力を3,000kWhとした場合の試算値

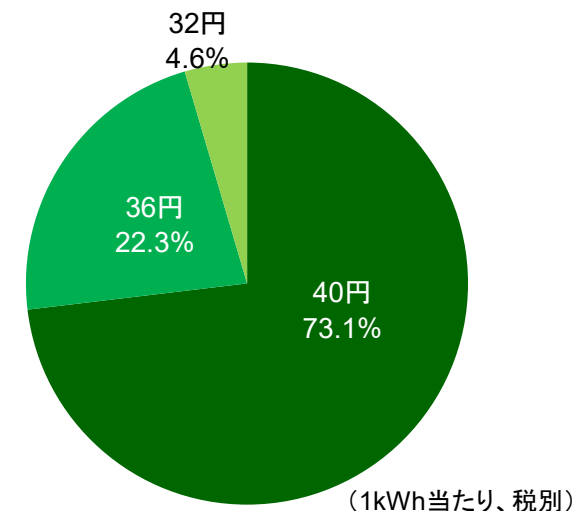
■ 地域別分散状況(取得価格ベース)



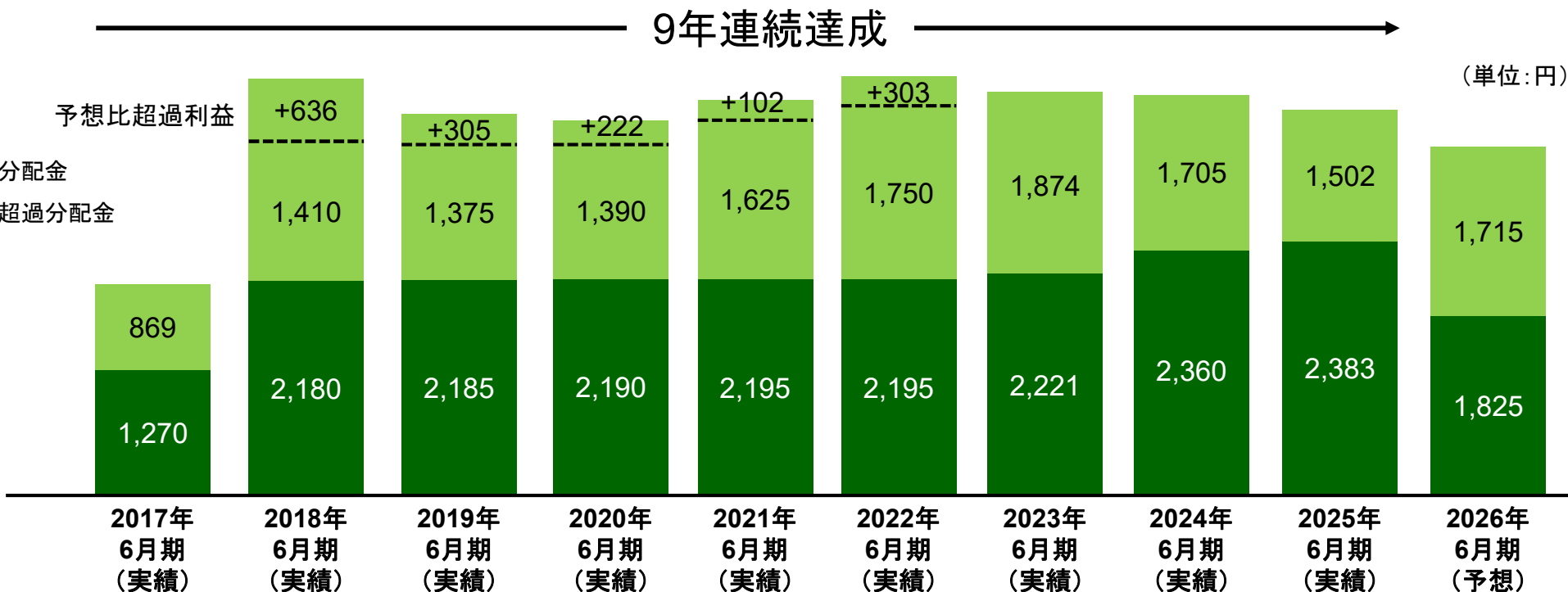
■ 稼働年数別分散状況(取得価格ベース)



■ 売電価格別分散状況(取得価格ベース)



10か年分配金予想の進捗状況



想定事象
(10か年予想反映)

創立費償却(完了)

新投資口発行 / 上場費用償却(完了)

長期修繕計画に
基づく資本的支出

想定外事象
(10か年予想未反映)

各電力会社にて出力制御の開始による発電量の減少(①)

名護二見のPID※による発電量の減少(②)

物価上昇による賃借人の運営管理費用の増加(③)

オンライン出力制御装置の導入による費用の増加(④)

多発するケーブル盗難への対策費用の発生(④)

※ 2017年12月31日を基準日、2018年1月1日を効力発生日とし、投資口1口を2口に分割

※ 2017年6月期(運用開始日は資産取得日である2016年12月1日につき、実質的な運用期間は7か月間)の実績については、投資口分割を考慮し、2分の1の金額を表示

※ PID(potential-induced degradation): 太陽光パネルに特定の条件や状況で高電圧がかかった際に発生する出力低下現象

© Ichigo Investment Advisors Co., Ltd. Ichigo Green Infrastructure Investment Corporation All rights reserved.

出力制御による発電量の減少

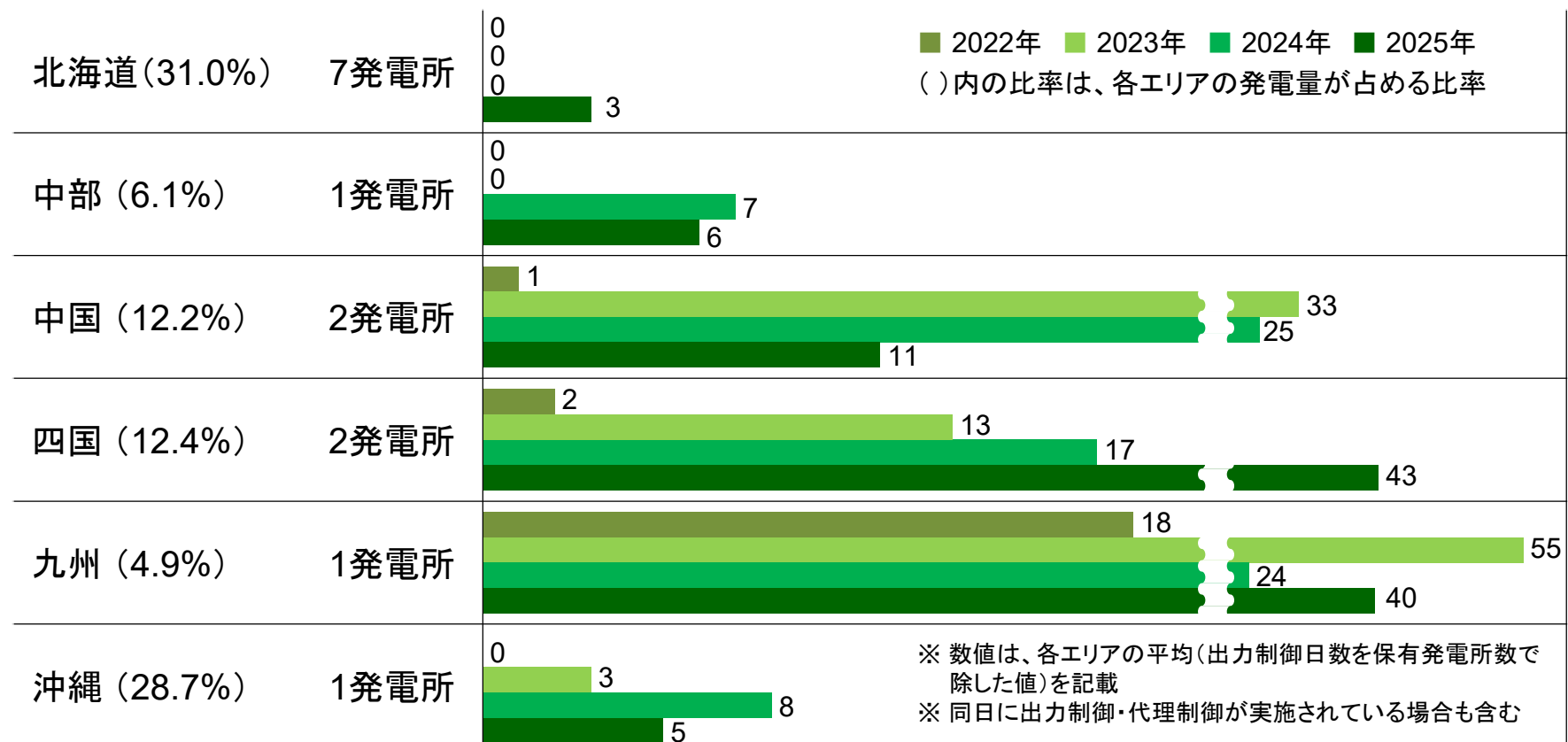
□ 出力制御を実施する電力会社は増加傾向

□ 出力制御対策による、逸失発電量を減らす対応

✓ オンライン出力制御: 15発電所(7地域)中、8発電所(6地域)で導入済み

✓ 北海道電力管内: 2026年6月期末までにオンライン出力制御導入の予定

■ エリア別／年別出力制御の実施日数 (単位: 日)



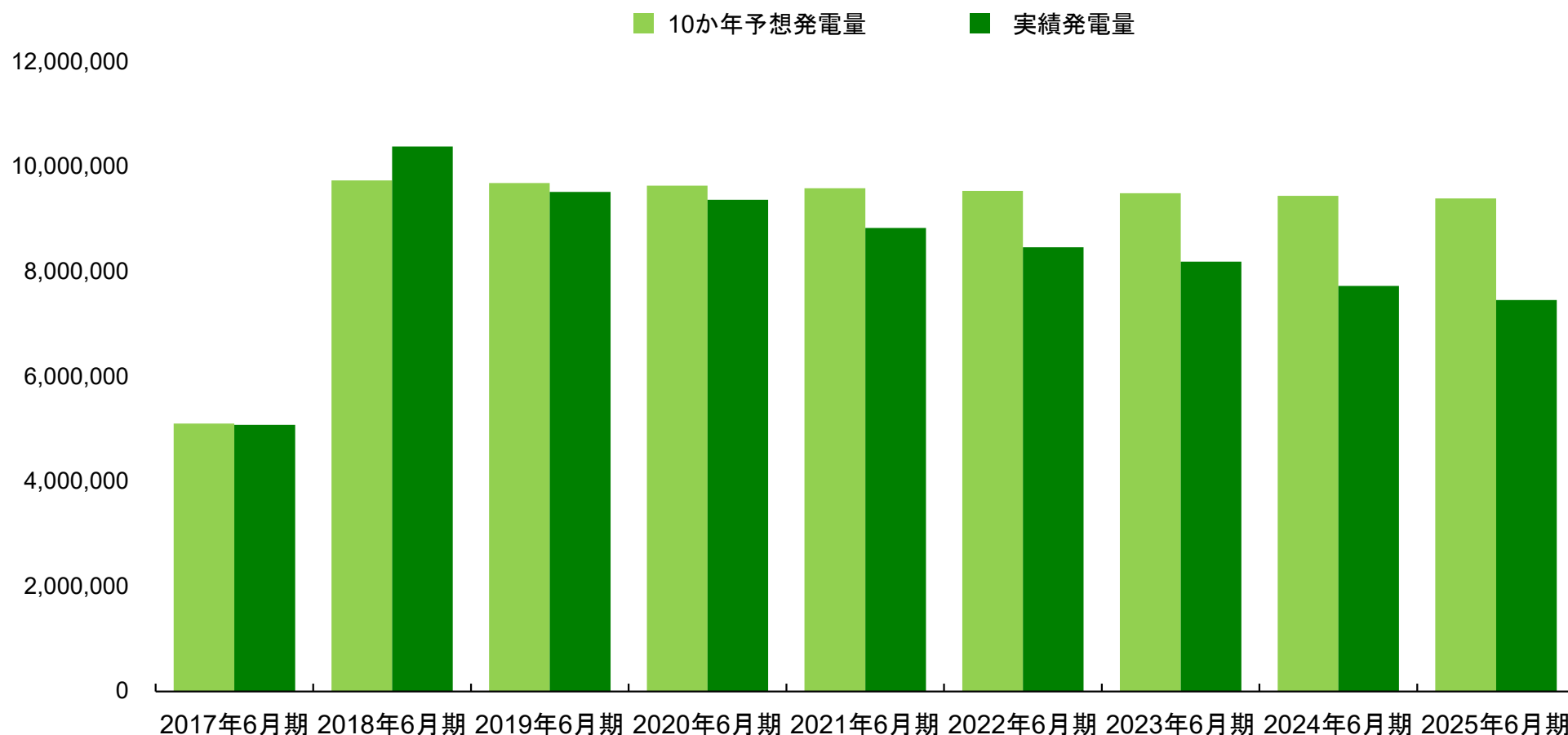
名護二見のPIDによる発電量の減少

インリー社パネル(本発電所の約半分)不具合(PID)の対応継続

✓ パネルメーカーは保証対象と認めている

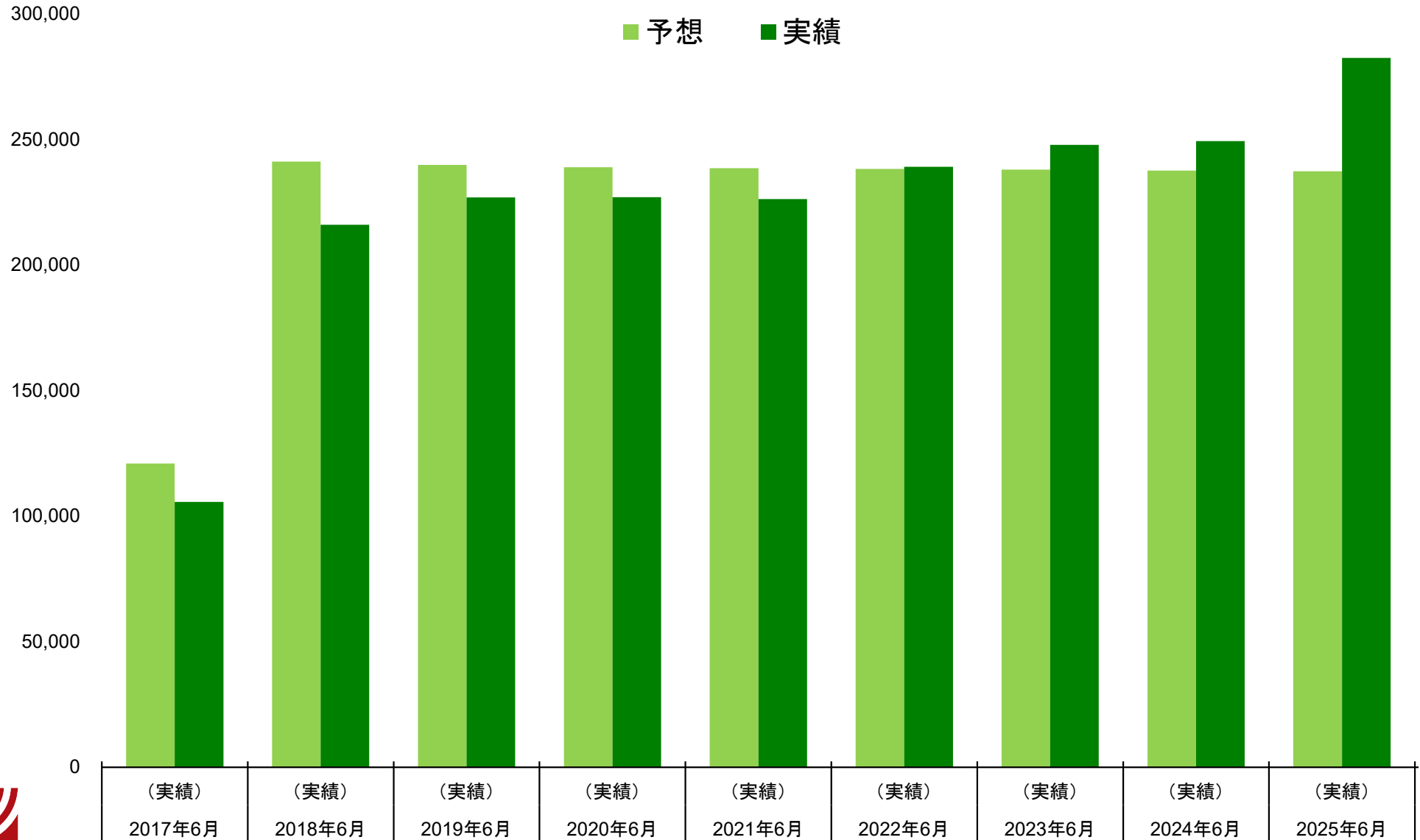
✓ パネルメーカーへ幾度も督促し保証協議を実施しているが、未だ協議継続中

■ 名護二見発電所 発電量予実推移(kwh)

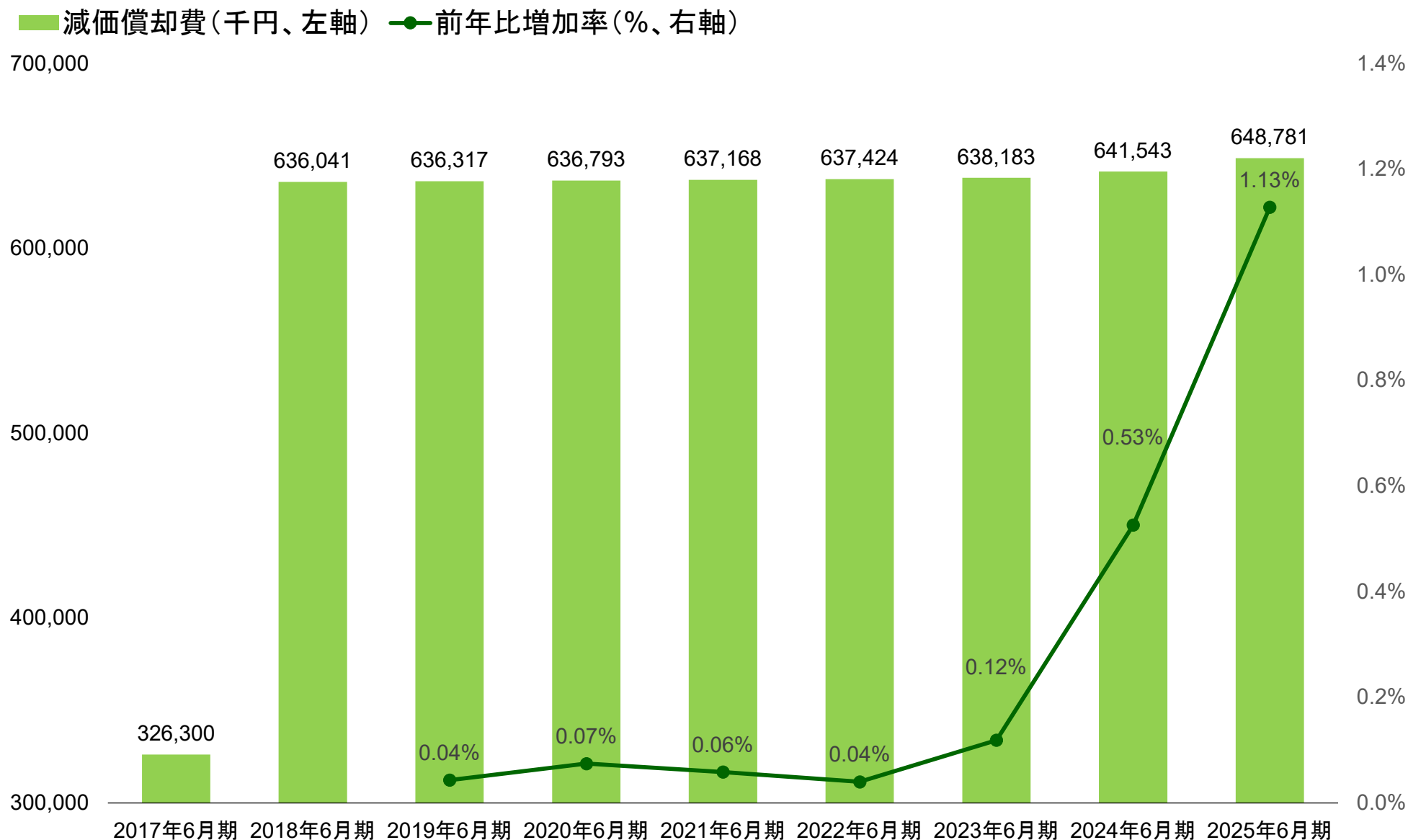


物価上昇による賃借人の運営管理費用の増加

■ 賃借人の運営管理費用(千円)



盗難対策・出力制御対策工事による減価償却費の増加



※2017年6月期は2016年12月1日～2017年6月30日までの実績

全国に分散した発電所

北海道から沖縄まで全国各地に所在

2025年6月30日現在



15発電所(約29MW)

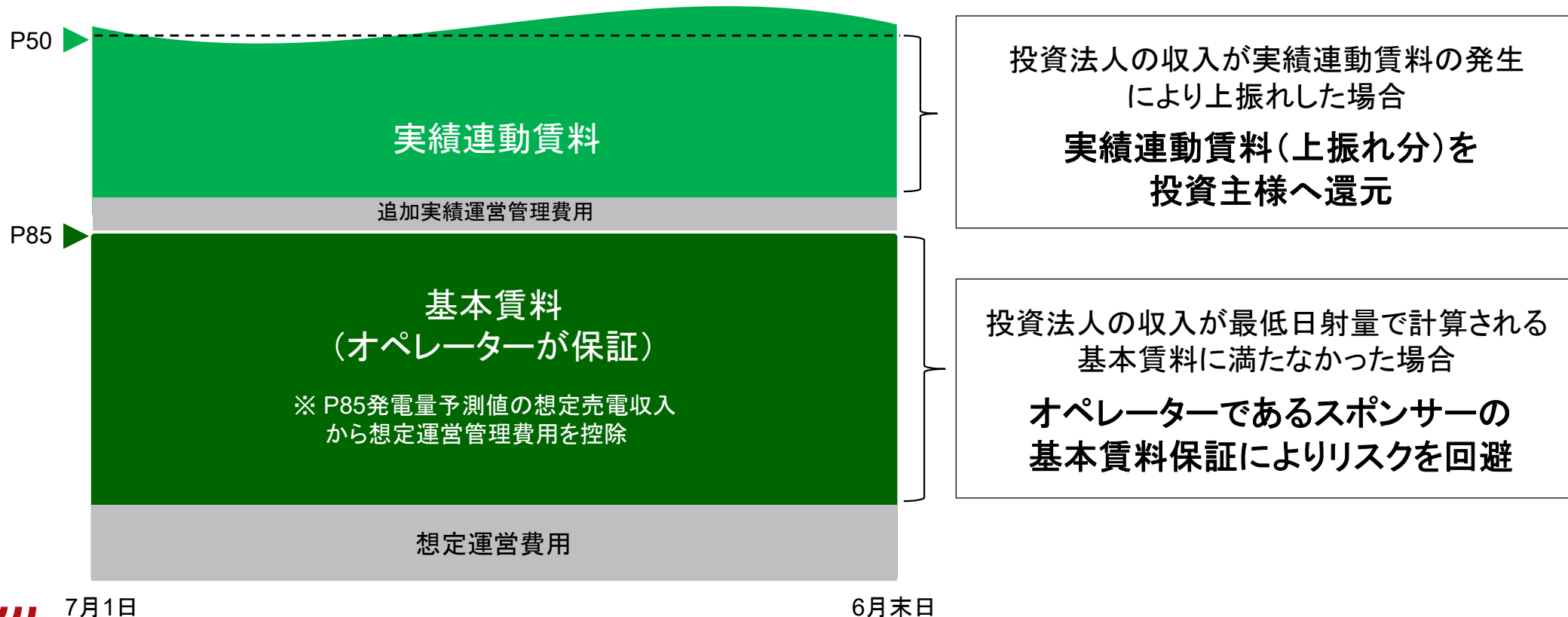
スポンサーサポート：オペレーターによる最低賃料保証

2025年6月期は、2発電所でオペレーター保証が発動

✓ いちご名護二見ECO発電所 : 38,760千円

✓ いちご伊予中山町出渕ECO発電所 : 543千円

■ 売電収入に基づくいちごグリーン収入



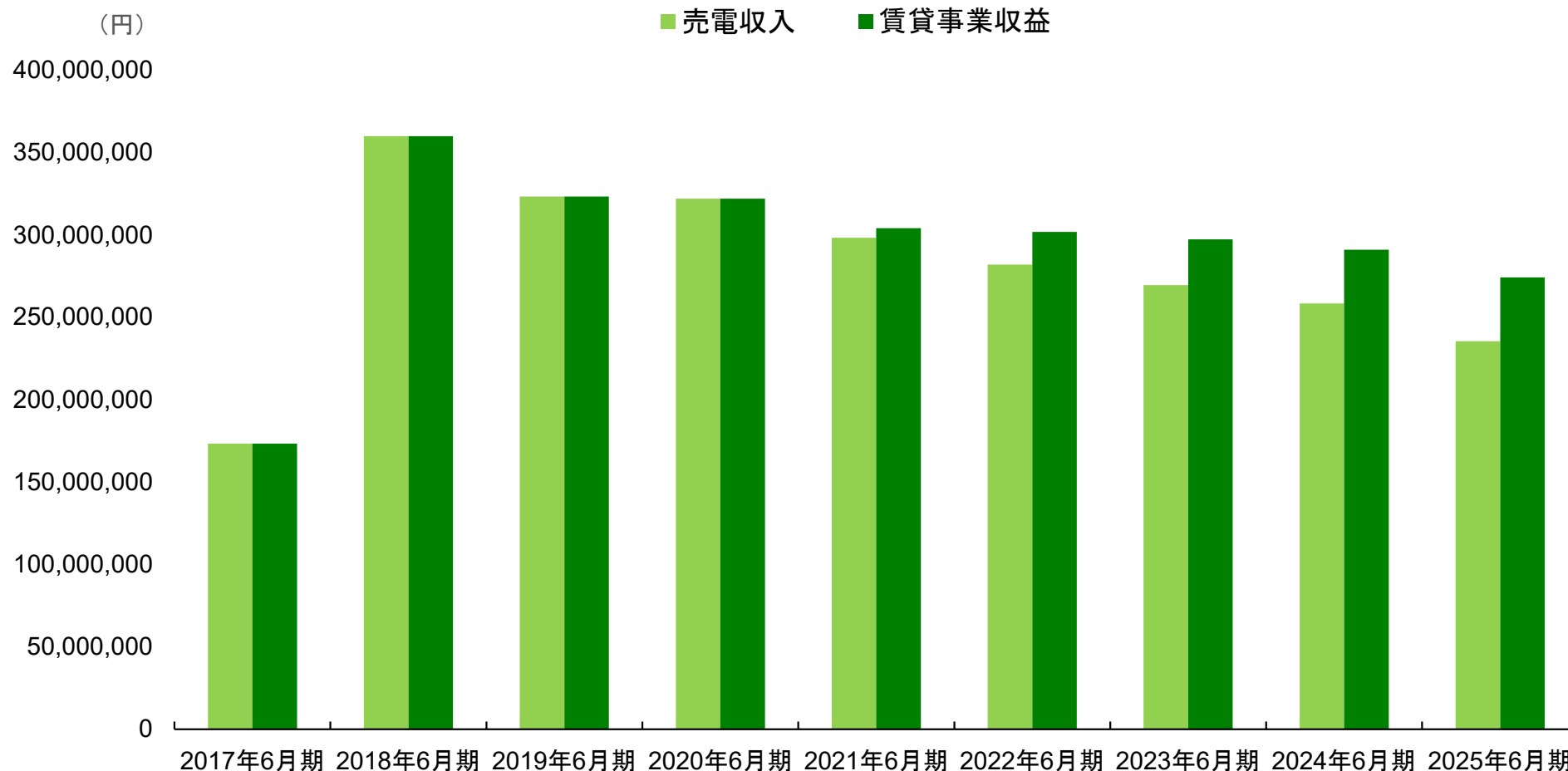
P50 ▶ 「平均日射量」における発電量予測値
※業績予想はP50発電量予測値を基に算出

P85 ▶ 「最低日射量」における発電量予測値

いちご名護二見ECO発電所における保証状況

PIDにより売電収入が減少傾向、オペレーターの賃料保証により
売電収入以上の賃貸事業収益を確保

■ 売電収入と賃貸事業収益の比較



財務状況

借入金利は100%固定化、借入残高は約定弁済により減少

■ 借入金の内訳

(2025年6月30日時点)

借入金	借入先	借入残高 (百万円)	借入金利	金利 種別	借入日	返済期日	借入 期間
タームローンⅠ	みずほ銀行、三井住友銀行	3,323	0.760%	固定	2016年12月1日	2026年11月30日	10年
タームローンⅡ	みずほ銀行	246	0.815%	固定	2017年7月3日	2027年6月30日	10年
タームローンⅢ	山口銀行	519	0.815%	固定	2017年7月3日	2027年6月30日	10年
合計		4,090	0.770%	(加重平均)			

※ 借入金利は、金利スワップ契約の締結により、返済期日まで実質的に固定された金利を記載

※ 平均金利は加重平均による数値の小数点以下第4位を四捨五入して記載

■ 期末LTV(想定)の推移

2017年 6月期 (実績)	2018年 6月期 (実績)	2019年 6月期 (実績)	2020年 6月期 (実績)	2021年 6月期 (実績)	2022年 6月期 (実績)	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期 (実績)	2025年 6月期 (実績)	2026年 6月期
57.4%	58.5%	57.8%	57.8%	57.2%	56.4%	55.8%	55.0%	54.2%	52.3%

■ 有利子負債÷FFO(想定)の推移

2017年 6月期 (実績)	2018年 6月期 (実績)	2019年 6月期 (実績)	2020年 6月期 (実績)	2021年 6月期 (実績)	2022年 6月期 (実績)	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期 (実績)	2025年 6月期 (実績)	2026年 6月期
15.5倍	8.1倍	8.0倍	7.7倍	7.1倍	6.6倍	6.0倍	5.6倍	5.0倍	4.3倍
6,858百万円	7,160百万円	6,733百万円	6,309百万円	5,875百万円	5,438百万円	4,990百万円	4,543百万円	4,090百万円	3,636百万円

借入金
残高

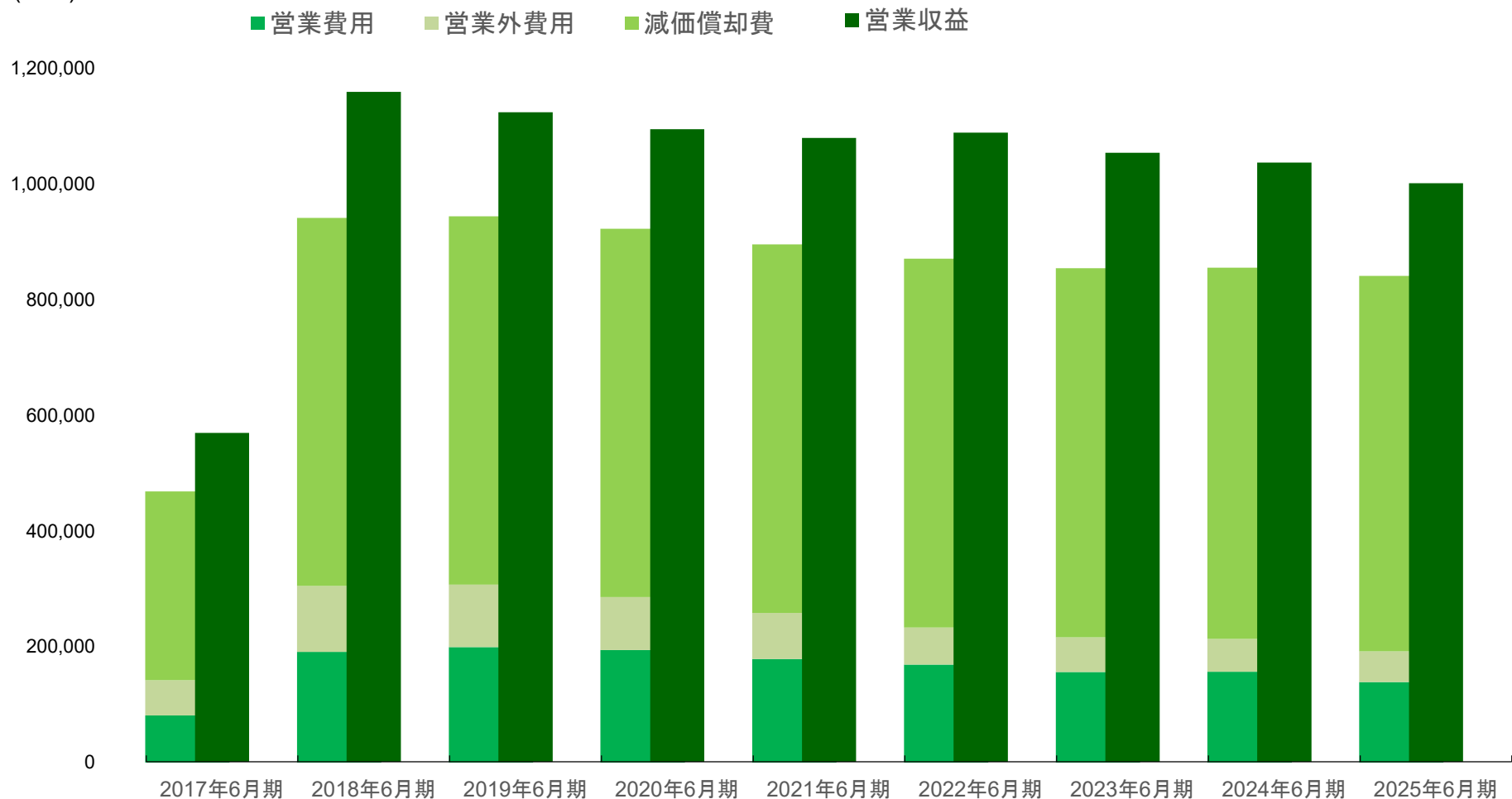
潤沢なキャッシュ・フローを生み出す収益構造

□ 収益の約6割が、現金支出を伴わない費用(減価償却費)

□ FIT終了と同時にコスト(利息等・減価償却費)がゼロとなる設計

■ いちごグリーンの収益構造

(千円)



2024年、2025年実績および2026年業績予想

10か年長期業績予想どおりの安定性

(単位:百万円)

	2024年6月期 実績	2025年6月期 実績(A)	2026年6月期 予想(B)	増減 (B-A)	主な差異要因
営業収益	1,031	996	1,046	+49	■ 営業収益の増加 +49 ・2025年6月期の発電量は予想を下回るも2026年6月期の発電量は予想通りを見込む ■ 営業費用の増加 +26 ・CAPEX投資に伴う減価償却費および償却資産税の増加 ・投資主総会関連費用の増加 ※当期純利益、1口当たり分配金は当初10年予想から変更なし
営業費用	798	788	815	+26	
(うち減価償却費)	641	648	676	+27	
営業利益	233	208	231	+22	
経常利益	176	155	179	+23	
当期純利益	175	154	178	+23	
1口当たり分配金	4,065円	3,885円	3,540円	-345円	
(うち利益分配金)	1,705円	1,502円	1,715円	+213円	
(うち利益超過分配金)	2,360円	2,383円	1,825円	-558円	
発電所数	15発電所	15発電所	15発電所	—	
発電量	3,253万kWh	3,232万kWh	3,324万kWh	+92万kWh	

今後の課題

□ コスト増への対応

- ✓ リファイナンス実行時の金利水準
- ✓ 運営管理費用のコストコントロール

□ 名護二見のPIDへの対応

- ✓ パネルメーカーへの交渉は継続
- ✓ その他対応策の検討

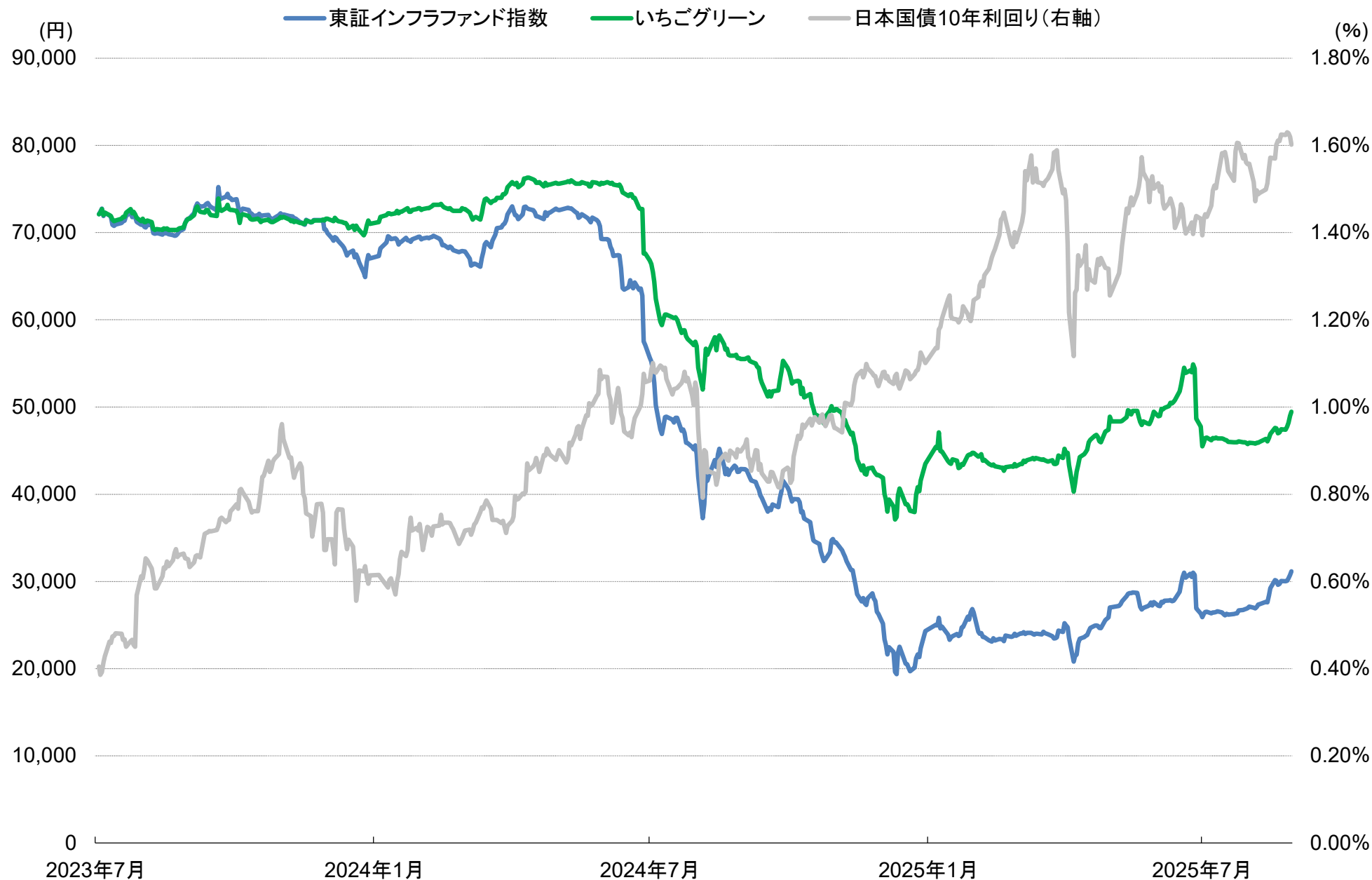
□ 導管性要件の緩和期限

- ✓ 2036年12月まで

□ FIT期間終了の到来

- ✓ 2033年9月(桐生奥沢)より期限到来し、2036年4月(山口佐山)まで
- ✓ FIT終了後のビジネスモデルの検討

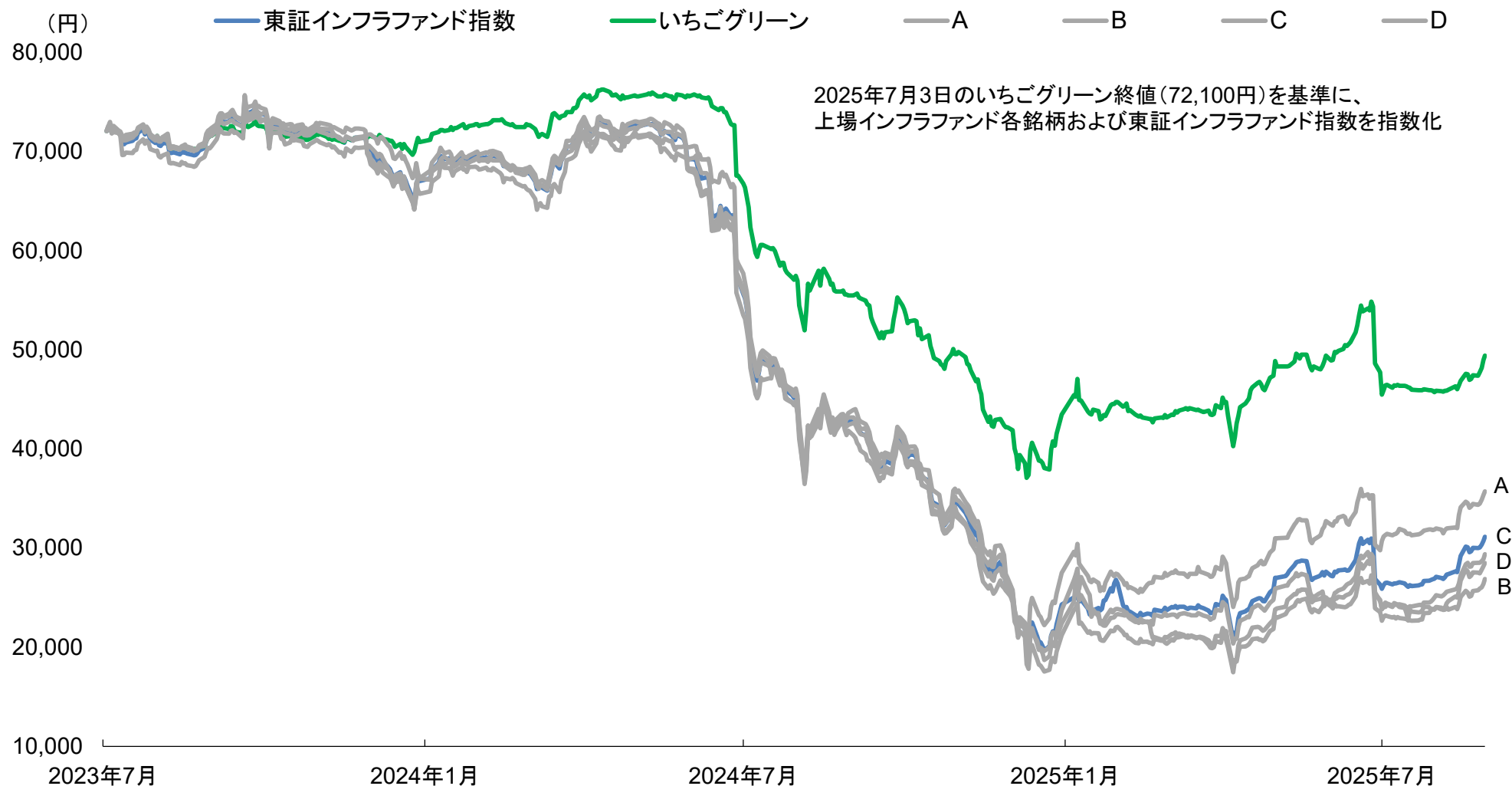
上場インフラファンド全体で投資口価格が下落



上場インフラファンドの投資口価格の推移(2023年7月～2025年8月)

□ 他銘柄で分配方針を変更

□ いちごグリーンは分配方針に変更なし



「いちごJリーグ株主・投資主優待」制度

□ 2つの日本初となる優待制度

- ① 株主・投資主の合同優待（4発行体の総対象人数 104,120名）
- ② Jリーグの全クラブと全試合が対象

□ いちごは、株主・投資主様と一緒にJリーグ全クラブを応援し、地域創生への貢献を目指します



Appendix

直近決算期(2025年6月期)の実績

決算ハイライト

	2025年6月期実績	説 明
発電量	3,232万kWh (期初予想比 -3.3%)	- 名護二見のパネル不具合や出力制御、天候不良による影響 - 地域分散により15発電所中10発電所は予想比プラス
営業収益	996百万円 (期初予想比 -56百万円)	- 賃借人の運営管理費用の増加 - いちごグループのオペレーター保証により発電量の減少を一部カバー
当期純利益	154百万円 (期初予想比 -40百万円)	販管費の削減により営業収益のマイナス額を縮小
1口当たり分配金	3,885円 (期初予想比 ±0円)	10年予想を9年連続で達成
1口当たりFFO (現金収入)	7,802円 (前期比 -133円)	分配金の2倍超の豊富なキャッシュ・フロー

※ 1口当たり当期純利益、1口当たり分配金、1口当たりFFOはそれぞれ期末時点の発行済投資口数(102,966口)で除して算出

※ FFO (Funds From Operations) = (当期純利益 + 減価償却費 + 創立費償却 + 投資口交付費償却 + 開業費償却 - 資産売却益 + 資産売却損 - 特別利益 + 特別損失)

決算内訳

(単位: 百万円)

	2024年6月期 実績	2025年6月期 予想	2025年6月期 実績	達成率	予想比
営業収益	1,031	1,052	996	94.7%	-56
営業費用	798	801	788	98.3%	-13
(うち減価償却費)	641	654	648	99.1%	-5
営業利益	233	251	208	82.9%	-43
経常利益	176	196	155	79.3%	-40
当期純利益	175	195	154	79.3%	-40
1口当たり分配金	4,065円	3,885円	3,885円	100.0%	—
(うち利益分配金)	1,705円	1,875円	1,502円	80.1%	-373円
(うち利益超過分配金)	2,360円	2,010円	2,383円	118.6%	+373円
発電所数	15発電所	15発電所	15発電所	—	—
発電量	3,253万kWh	3,342万kWh	3,232万kWh	96.7%	-109万kWh

2025年6月期 トピックス

□ 10発電所で予想を超過

- ✓ 名護二見のPID および出力制御が影響し、予想発電量比-3.3%

□ 出力制御対策による逸失発電量の低減対応

- ✓ 15発電所(7地域)のうち、8発電所(6地域)にてオンライン出力制御を導入済
- ✓ 2026年6月期末までに、北海道でオンライン出力制御を導入し、対応完了予定

□ 名護二見のインリー社パネル(本発電所の約半分)不具合(PID)の対応継続

- ✓ PIDによる発電量の低下は、予想合計発電量3,342万kWhに対し-6.8%と試算
- ✓ パネルメーカーは保証対象と認めている
- ✓ パネルメーカーへ幾度も督促し、保証協議を実施しているが、未だ協議継続中

□ 電気ケーブル盗難対策の強化を継続

- ✓ 全発電所(15発電所)で盗難対策実施
 - 2025年6月期に大手警備会社による機械警備を増設
 - 盗難対策に係る資本的支出:2025年6月期129百万円、2024年6月期35百万円

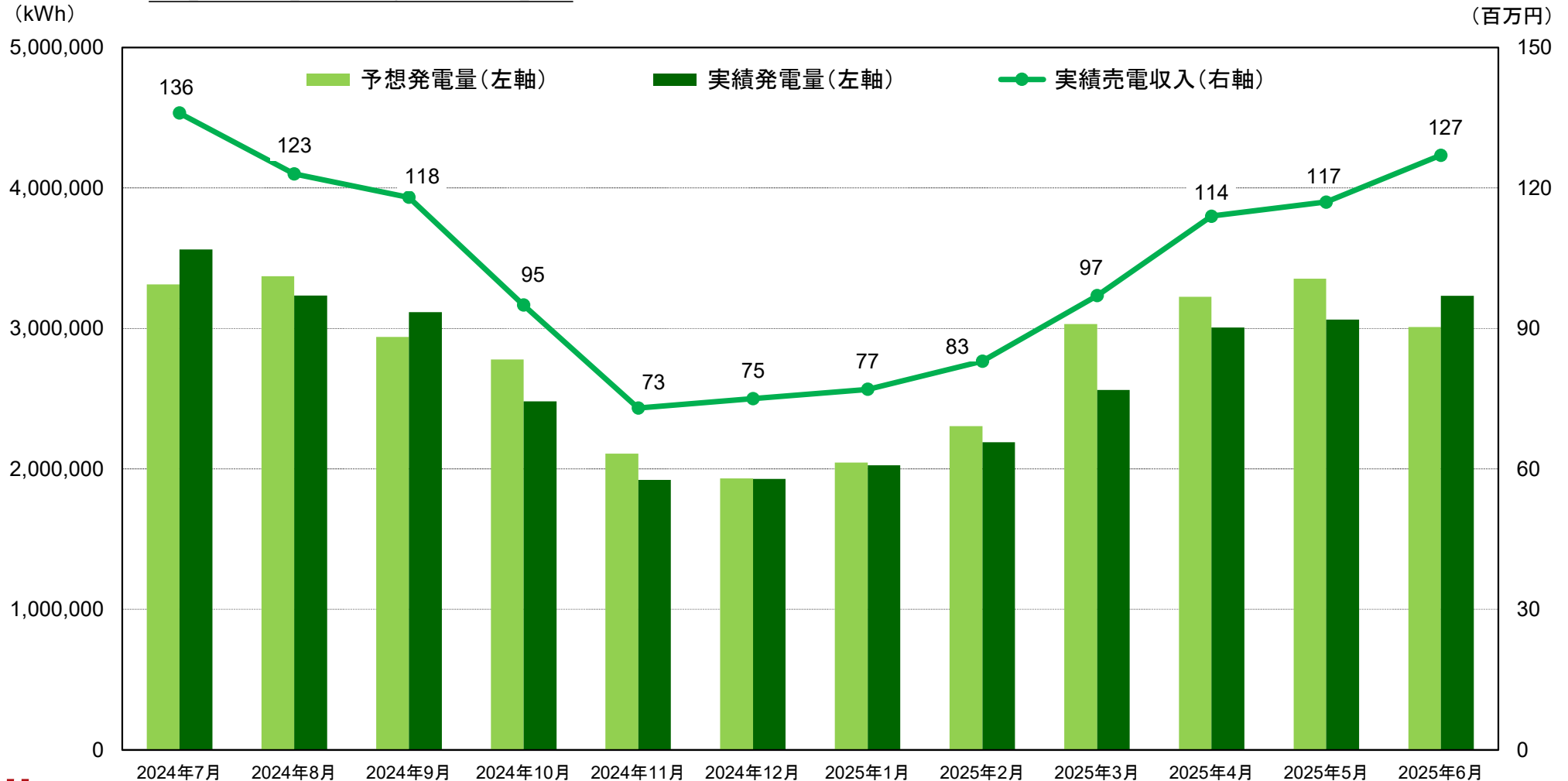
各発電所別実績

No.	発電所名	発電量			収益			
		予想発電量(A) (kWh、12か月)	実績発電量(B) (kWh、12か月)	差異(B-A) (kWh)	売電収入 (千円)	運営管理費用 (千円)	オペレーター 保証(千円)	営業収益 (千円)
E-01	いちご桐生奥沢ECO発電所	1,509,475	1,670,698	+161,223	65,125	17,437	—	47,687
E-02	いちご元紋別ECO発電所	1,508,609	1,579,772	+71,163	61,667	17,495	—	44,171
E-03	いちご室蘭八丁平ECO発電所	1,402,053	1,535,133	+133,080	59,771	17,690	—	42,081
E-04	いちご遠軽清川ECO発電所	1,191,543	1,215,353	+23,810	47,896	13,837	—	34,059
E-05	いちご伊予中山町出淵ECO発電所	1,383,203	1,209,367	-173,836	49,306	10,924	543	38,925
E-06	いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所	2,169,683	2,241,810	+72,127	87,239	18,186	—	69,052
E-07	いちご安平遠浅ECO発電所	1,281,804	1,365,550	+83,746	54,571	14,668	—	39,903
E-08	いちご豊頃ECO発電所	1,252,471	1,253,629	+1,158	49,461	11,799	—	37,661
E-09	いちご名護二見ECO発電所	9,398,660	7,462,106	-1,936,554	306,537	70,778	38,760	274,520
E-10	いちご遠軽東町ECO発電所	1,309,607	1,249,419	-60,188	48,693	10,964	—	37,728
E-11	いちご高松国分寺町新居ECO発電所	2,975,177	2,889,787	-85,390	104,889	13,599	—	91,289
E-12	いちご都城安久町ECO発電所	1,675,889	1,632,887	-43,002	58,731	12,223	—	46,508
E-13	いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所	2,106,367	2,285,461	+179,094	72,233	23,117	—	49,164
E-14	いちご山口秋穂西ECO発電所	1,454,600	1,551,636	+97,036	60,974	11,362	—	49,611
E-15	いちご山口佐山ECO発電所	2,801,526	3,181,198	+379,672	112,599	18,524	—	94,075
合計		33,420,675	32,323,812	-1,096,863	1,239,699	282,611	39,304	996,441

月次発電実績

パネル不具合、出力制御、天候不良の影響を受け予想比-3.3%

■ 発電量と売電収入の推移(15発電所)



※ 売電収入は、電力会社より発電事業者である賃借人(SPC)が収受する収入

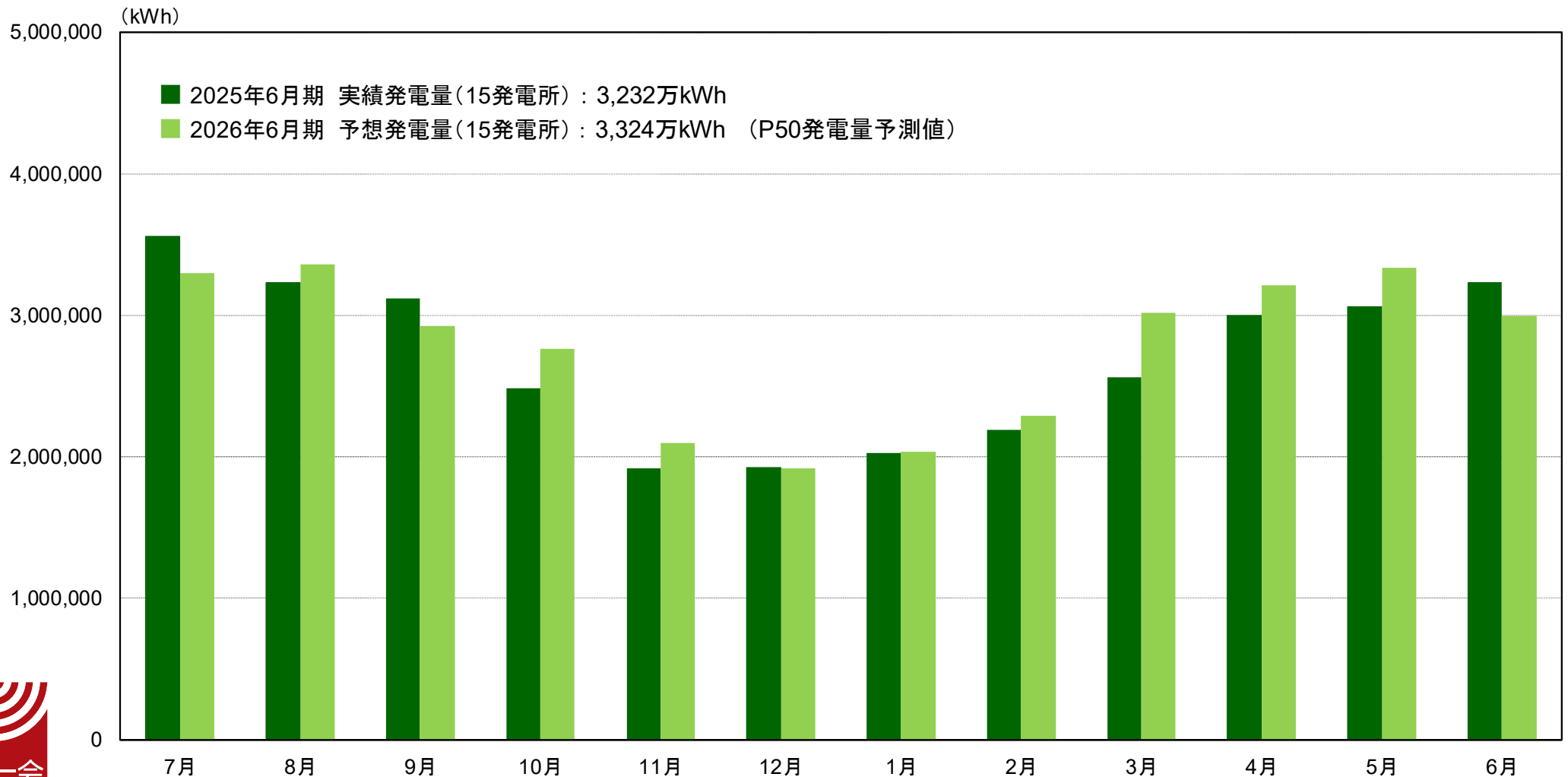
※ 相対的に予想 / 実績ともに発電量は9月～翌2月(秋冬期)および6月(梅雨)が低く、3月～8月(春夏期)が高い傾向

2026年6月期 予想発電量

2026年6月期 予想発電量：3,324万kWh(前期実績比 +2.9%)

(ご参考) 2025年6月期 実績発電量：3,232万kWh

■ 2025年6月期実績発電量と2026年6月期予想発電量の比較



いちごグリーンの安定化に対する取り組み

各発電所の気候や地形に対応した設計による高効率発電

きめ細かい個別設計により発電効率をアップ

- ✓ 積雪対応(北海道)：架台を高く設置、パネル角度を30度に設定(通常平地10度)
- ✓ 強風対応(香川県)：土地の形状にあわせて数種類の架台を設置
- ✓ 台風対応(沖縄県)：綿密な荷重計算により設置場所に応じ架台を強化
(最大で風速60Mの強風に耐えられる設計)



いちご遠軽東町ECO発電所
(北海道紋別郡)



いちご高松国分寺町新居ECO発電所
(香川県高松市)

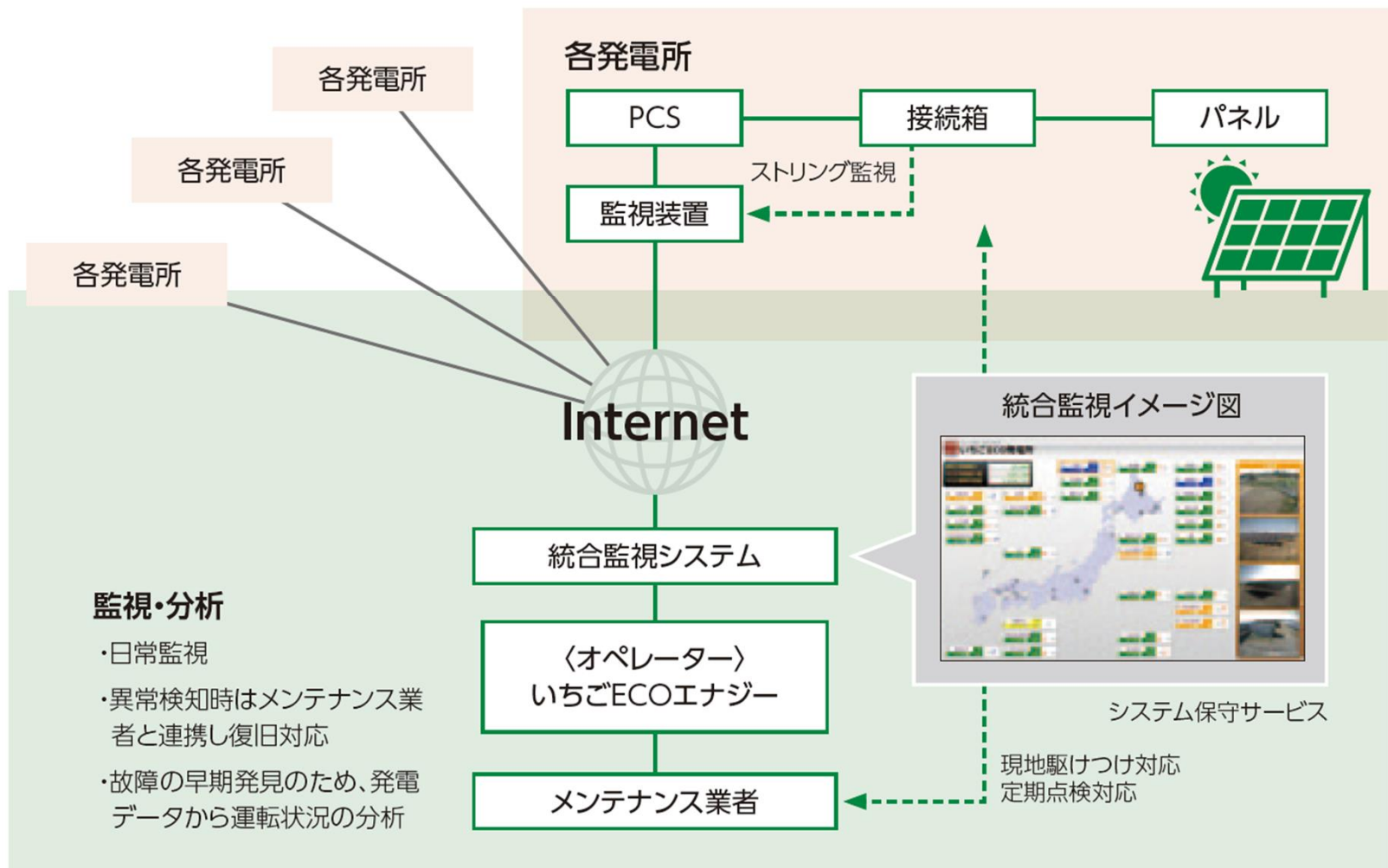


いちご名護二見ECO発電所
(沖縄県名護市)

高度技術に支えられたオペレーション

統合監視システムにより、リアルタイムで発電所の稼働状況をチェックし、故障および劣化の早期発見を実現することにより、発電ロスを最小化

✓ 太陽光パネルを列ごとに管理するストリング監視システムを導入



世界トップクラスの透明性を有するリアルタイム開示

発電量、CO2削減量をリアルタイムでHP公開

いちご名護二見ECO発電所
Ichigo Nago Futami ECO Power Plant



本発電所は、沖縄県北部「山原（やんばる）」と呼ばれる自然豊かな地域である名護市二見に建設されており、事業用地を、名護市より借り受けています。使用パネル枚数は、32,144枚、パネル出力は約8.44MWであり、一般家庭約2,750世帯分の消費電力を賄うことが出来るメガソーラーです。

今日の
ECO発電量 **9,590 kWh**

今日の
CO2削減量 **6,655 kg-CO₂**

国内インフラ資産（太陽光発電所）の取得完了のお知らせ(2016年12月01日) (919KB)

いちごグリーンインフラ投資法人
Ichigo Green
いちごグリーンインフラ投資法人

今日のグリーン発電量 **28,660 kWh**

Investment In
Japan's Green Infrastructure

いちごグリーンインフラ投資法人（証券コード 9282）は、今後さらなる拡大が期待される「グリーンインフラ」という新たなアセットタイプへの投資機会を提供し、長期にわたる安定性と成長性の両面を追求した運用を通じて投資主価値の最大化を目指します。グリーンインフラに特化した本投資法人の成長は、わが国の投資市場の発展に貢献するとともに、地球に優しく安全性に優れたわが国のグリーンエネルギー自給に寄与するものと考えています。

[お問い合わせフォームはこちら](#)

保有資産状況 (2024年6月30日時点)	
太陽光発電所数	15 発電所
合計パネル出力	29.43 MW
CO2年間削減量 (直近実績)	16,837 トン

[MORE](#)

分配金	
2024年6月期（実績）	4,065 円
2025年6月期（予想）	3,885 円

[MORE](#)

【いちごグリーンHP】 www.ichigo-green.co.jp

ESG(環境・社会・ガバナンス)へのコミットメント



いちごのサステナビリティ方針

1. 環境との調和と資源循環

いちごグループの事業が地球環境に与える影響を的確に把握し、施設等の長寿命化、継続的な節水や廃棄物の削減・リサイクル等に努め、環境への負荷を最小限とするよう積極的に取り組みます

2. 気候変動への対応と脱炭素社会への移行

いちごグループの事業の遂行にあたっては、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の継続的な削減、再生可能エネルギーの活用、物件のレジリエンス向上等、気候変動への対応を推進し、脱炭素社会の実現を目指します

3. 法令適応と環境管理体制の整備

環境に関わる法規制や、自ら受け入れを決めたその他の環境に関わる要求事項を順守し、環境管理体制を整備することにより環境保全に努めます。また、法規制等の動向を常に注視し、その変化に適応します

4. 教育・啓発活動とステークホルダーとの協働

サステナビリティに関する社内教育を充実させ、当方針をいちごグループの全役職員およびサイト内で働くすべての人に周知し、意識の向上を図ります。また、さまざまなステークホルダーにも当方針に関する理解・協力を呼びかけ、協働してサステナビリティの推進に努めます

5. サステナビリティ・パフォーマンスの開示等

本方針やサステナビリティに関する取り組み等の情報開示に努め、広く社会とのコミュニケーションを図ります。また、サステナビリティに関する認証等の取得に継続的に取り組みます

6. サステナブル調達の実施

いちごグループの事業の遂行においては、環境配慮型の工法や材料、省エネルギー・省資源設備等を積極的に採用する、また、協力会社の選定に際しては、サステナビリティに関する取り組みを考慮するなど、サステナブル調達を推進します

7. 多様で包摂的な組織の醸成

人権を尊重し、人種、信条、宗教、皮膚の色、国籍、年齢、性別、性的指向、性同一性、身体障害、社会的身分などを問わず、多様な従業員が自分らしく働き、その能力を最大限に発揮できる組織と風土の醸成に努めます。また、健康と快適性に配慮した働きやすい職場環境を整備し、従業員一人ひとりの活躍とウェルビーイングを実現することにより、組織の成長につなげます

8. 生物多様性・生態系の保全

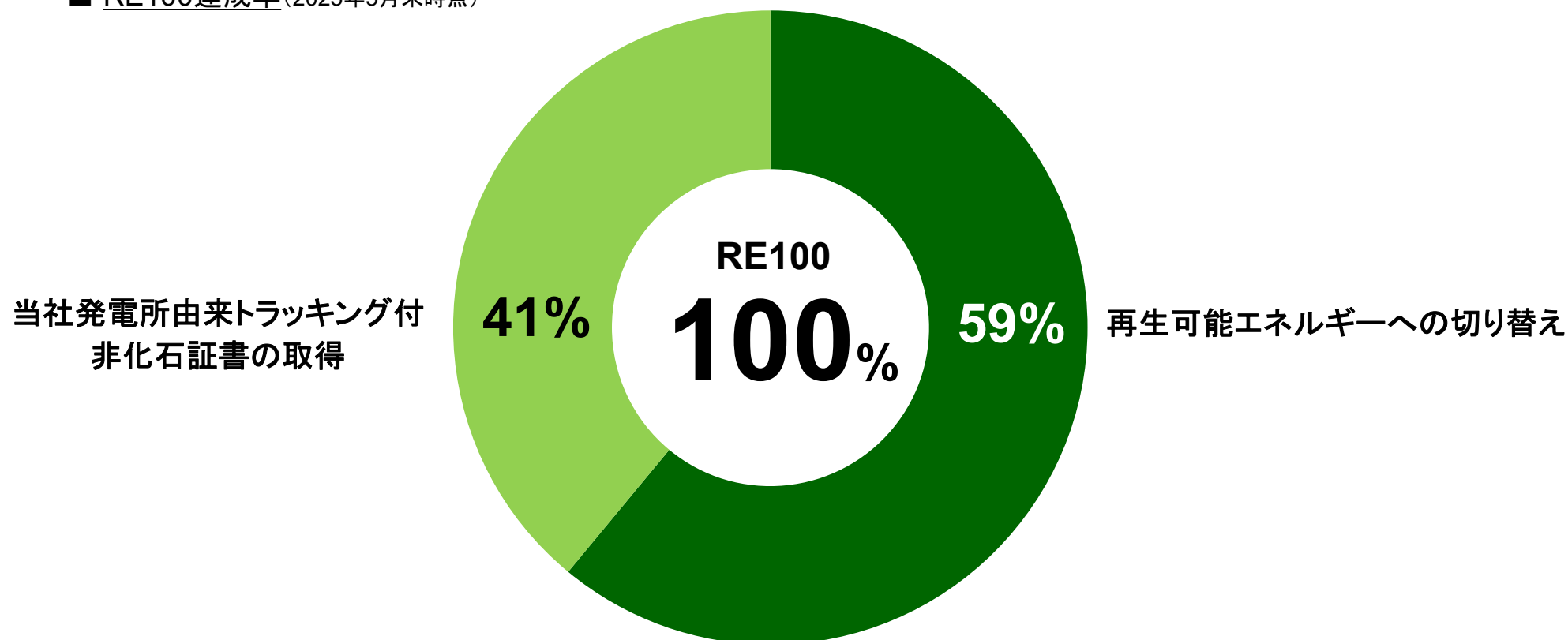
敷地内緑化、屋上・壁面緑化や在来種を中心とした植栽の取り組み等を通じて、生物多様性・生態系の保全に貢献します

RE100：再生可能エネルギーへの切り替え 100%完了

RE100の認証取得と長期VISION「いちご2030」KPI^(※)達成へ、100%を維持

✓ 2026年2月期にRE100認証取得予定

■ RE100達成率(2025年5月末時点)

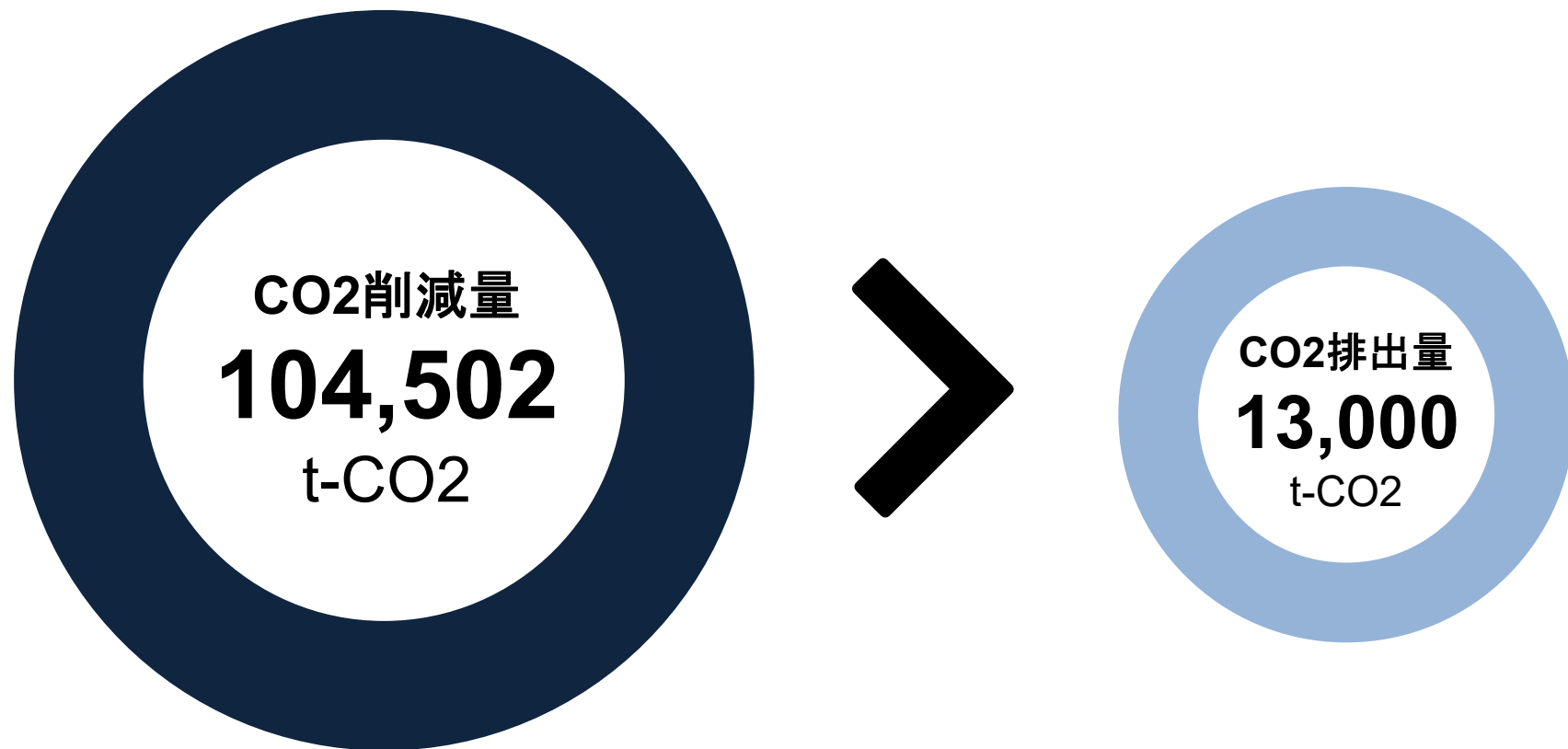


(※) サステナブルな社会へ向けた環境課題解決KPIとして、
「グループ全体の事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーとする『RE100』を2025年までに達成しその状態を維持」と策定

いちごのクライメート・ポジティブ(CO2削減量 / 排出量比較) ①

CO2削減量はCO2排出量の約8倍

■ いちごのECO発電所によるCO2削減量とグループの排出量比較(2025年2月期末)



いちごが保有・運用する発電所によるCO2削減量
(いちご + いちごグリーン)

いちごグループのScope1+2排出量
(いちご + いちごオフィス + いちごホテル + いちごグリーン)

いちごのクライメート・ポジティブ(CO2削減量 / 排出量比較) ②

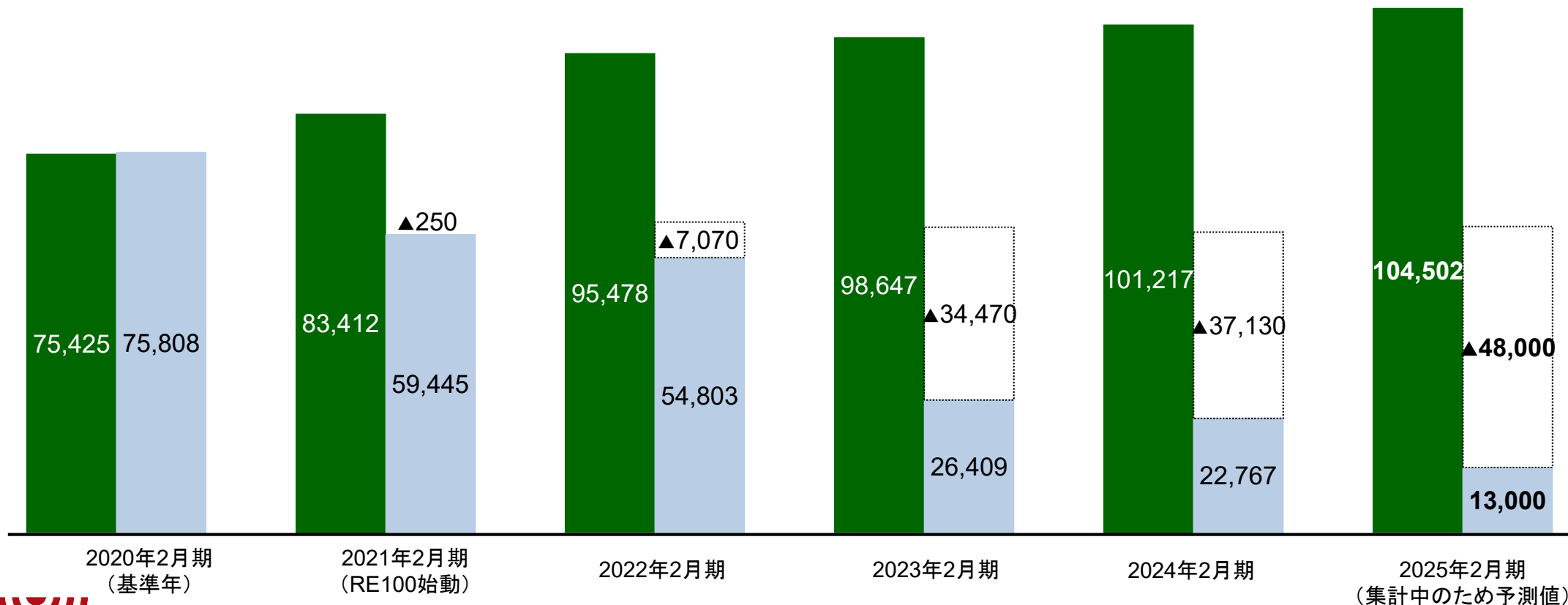
クリーンエネルギー事業の成長(CO2削減量の増加)と
再生可能エネルギー電力への切り替え・オフセット(CO2排出量の削減)を推進

■ CO2削減量 / 排出量削減効果 / 排出量

■ クリーンエネルギー事業によるCO2削減量(※1) ■ グループ全体のCO2排出量(Scope 1+2)

□ 施策によるCO2削減量(省エネ化、再生可能エネルギーへの切り替え、当社発電所由来のトラッキング付非化石証書取得(※2))

(単位:t-CO2)



(※1) 環境省が公表する毎年3月1日時点の各電力会社の調整後排出係数を、それぞれの事業期間ごとの年間固定値として算出(発電量×排出係数)

(※2) 非化石電源由来の電気が持つ環境価値が証書化され、RE100対応が可能となるよう発電所所在地等の属性情報(トラッキング情報)が付与されたもの

環境 (Environmental)

環境循環型社会によるクライメート・ポジティブを目指して

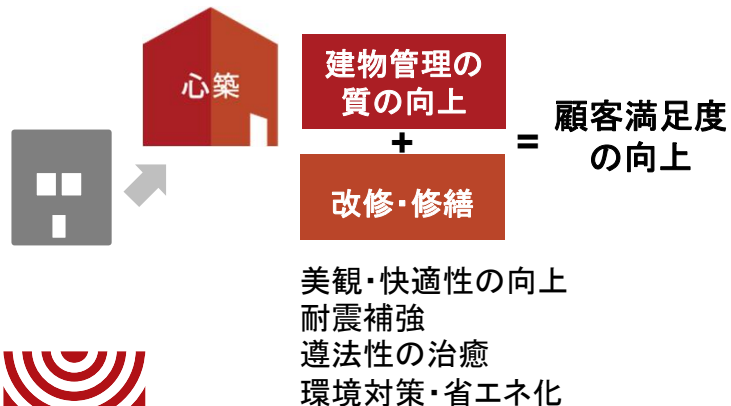


■ 現存不動産の有効活用・価値最大化による、資源消費の少ない不動産モデルの確立

現存する建物や遊休地を、いちご独自の心築技術により、最も有効活用。サステナブル社会の実現に向け、安心安全が100年持続する建物技術をオープンプラットフォームで研究開発し、公共インフラへのアプローチも含めた「100年不動産」にもチャレンジ

【いちごの「心築」】

建物を活かして新たな価値を創る



■ 遊休地を活用したクリーンエネルギー創出、地域への貢献

山林を無駄に切り崩さず、造成による水の被害が想定される土地は使用しない、そして地域住民の方々との十分な協議を行ったうえで着工する、という基本方針に則り、太陽光発電を主軸としたクリーンエネルギー事業を展開

【年間発電量】

234,662,770 kWh

約56,200世帯分の年間発電量

※ 年間消費電力量 (国内平均)
4,175kWh/世帯 (環境省資料)



※ いちご、いちごグリーンの2025年2月期実績

【年間CO2削減量】

104,502 t-CO2

自動車約45,400台分の
年間CO2削減量



※ 乗用車 (ガソリン車) 約2,300kg / 台・年 (環境省資料)

※ いちご、いちごグリーンの2025年2月期実績

■ 環境認証

CASBEE、BELS、DBJ Green Building認証など、物件の環境性能に加え、GRESBも取得しており、ステークホルダーからの社会的要請への配慮等を含めた取り組みにより、社会インフラとして求められるスペックと運用体制の確保を推進

【環境認証の取得実績】 (2025年7月31日時点)



いちご / いちごオフィス (8975) /
いちごホテル (3463)
計19物件



いちごオフィス (8975)
3 Star / Green Star



いちごホテル (3463)
3 Star / Green Star

BELS : 9物件

DBJ Green Building 認証 : 2物件

東京都中小低炭素モデルビル : 9物件

社会 (Social)

事業活動を通じた社会貢献



■ 地域活性化への貢献

地域独自の魅力を集約した観光拠点の創出、不動産・クリーンエネルギー事業を通じた地域雇用の創出、地域活動支援による防災性能や景観対策への貢献など、本業を通じた形で地域活性化を、関係者との持続的な共栄関係を築きながら推進



◀ 宮交シティ
商業施設 / 宮城県
www.miyakocity.com

THE KNOT TOKYO ▶
Shinjuku
ホテル / 東京都
<https://hotel-the-knot.jp>



■ 「いちご大学」の運営

役職員一人ひとりが学び続けられる「いちご大学」を、2013年5月より企業内大学として開校
開催する講座では、専門性の高い役職員が自ら講師となり経験談や実績を踏まえた講義内容を展開するほか、外部専門講師を招へい
1年間の平均開講数 30回

【いちご大学の様子】



リアル(オフライン)とオンラインの
ハイブリッド開催

■ スポーツ支援

スポーツ支援の枠組みに限らない地域活性化への取り組みとして、Jリーグとトップパートナー契約を締結し、活動を支援。
また、ウエイトリフティング部・陸上部・テニス部を創設し、可能性豊かなアスリートたちを社員として雇用、競技活動を支援



三宅宏実
村上英士朗
(ウエイトリフティング)



清山ちさと(陸上)

「スポーツエールカンパニー」
(スポーツ庁)、
「スポーツ推進企業」(東京都)
に8年連続認定

いちごスポーツサイト www.ichigo.gr.jp/ichigosports



【いちごグループにおけるESGの取り組み】 ガバナンス



徹底したガバナンス体制が、健全かつ効率的な運用を可能に

投資法人

■ 資産運用会社の執行をモニタリング

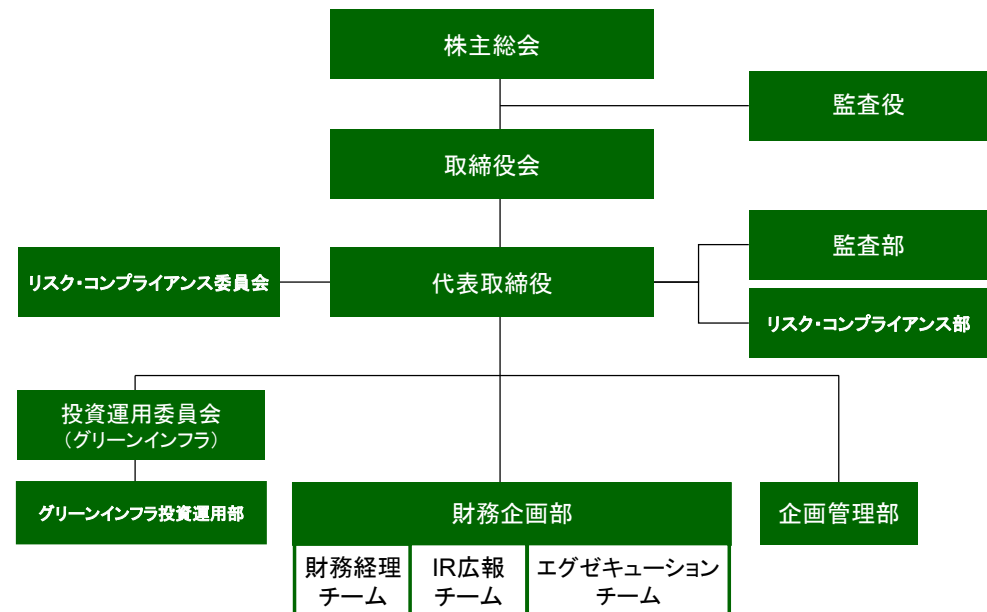
- ・ 投資法人の役員は全員、資産運用会社およびいちごグループから独立した社外役員にて構成
- ・ 執行役員を中心とした役員会での活発な議論により、運用会社への牽制機能を発揮



資産運用会社

■ ベストプラクティスを目指す運用体制

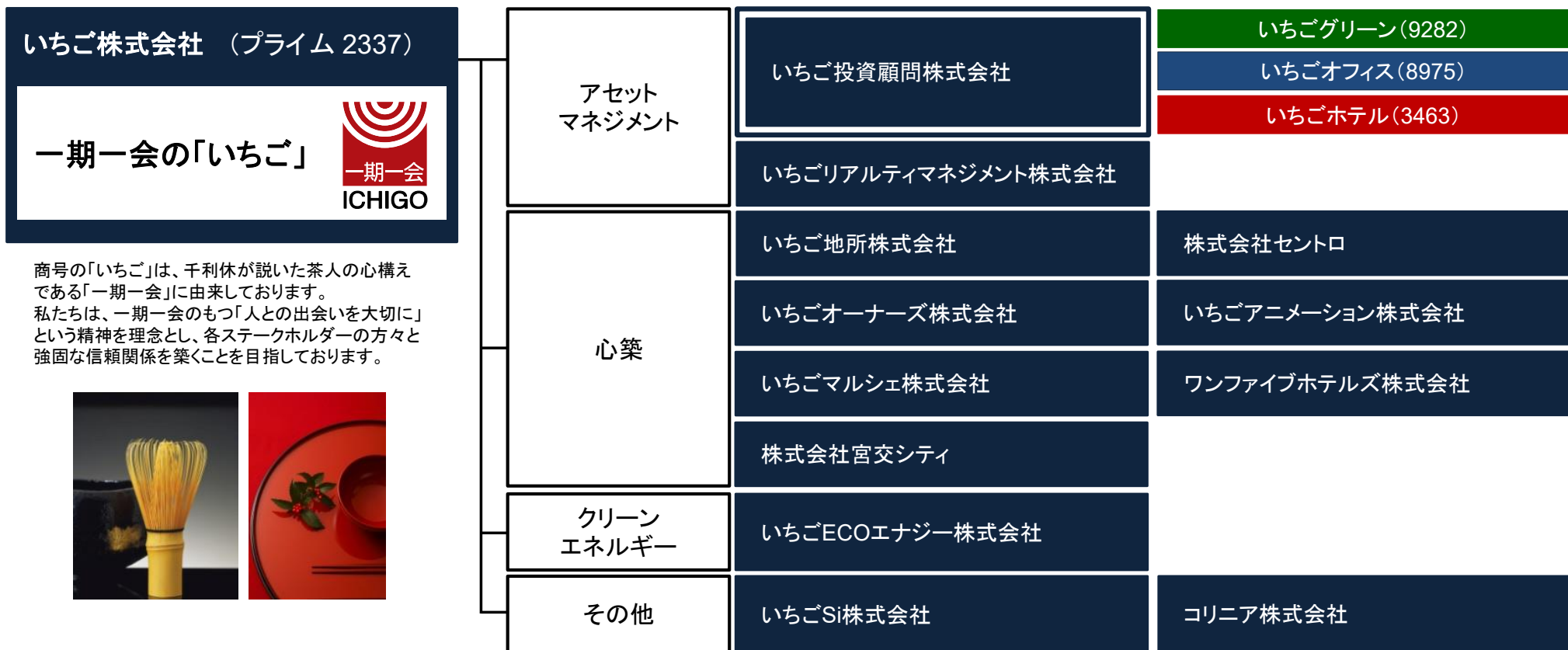
- ・ 取締役5名のうち、2名が社外取締役
- ・ 投資運用部を他業務から分離し、独立判断による最良執行を図る
- ・ リスク・コンプライアンス部および監査部を社長直轄とし、法令順守・内部管理体制を確保
- ・ 投資運用委員会、リスク・コンプライアンス委員会に外部有識者を入れることで、コンプライアンス運営の客観性を確保



いちごグループの概要

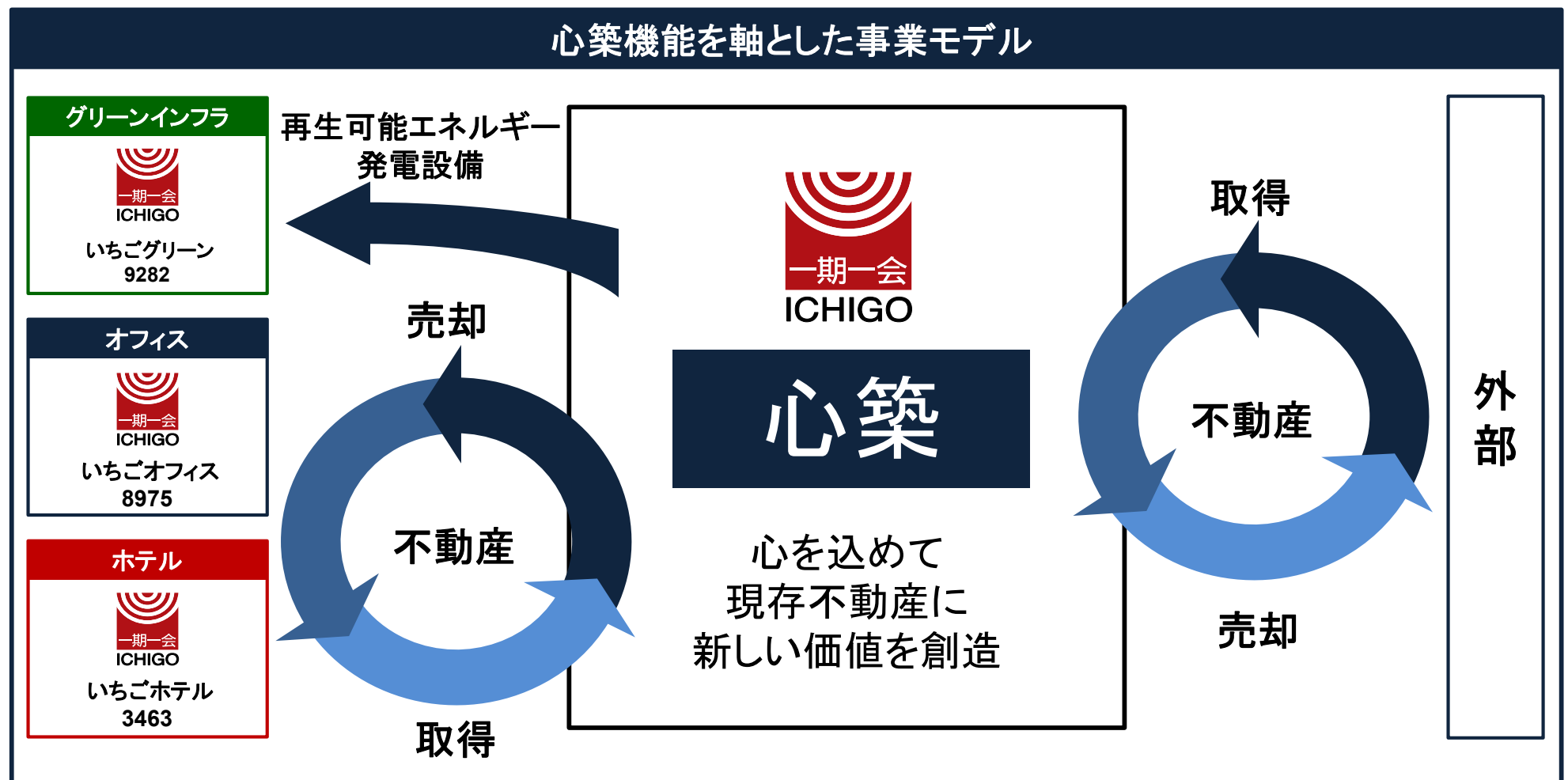
スポンサー サステナブルインフラの「いちご」

- インフラ投資法人、Jリーートの運用等のアセットマネジメント、心築(しんちく)、クリーンエネルギー等の事業を展開
- 不動産・建築技術を活かし、現存不動産に新しい価値を創造する「心築」事業が強み
- 太陽光および風力発電、環境負荷軽減やスポーツ支援(ウエイトリフティング、陸上、テニス、Jリーグトップパートナー)等も積極的に推進



いちごグリーンとスポンサーのシナジー

- クリーンエネルギー事業を営むいちごグループによるスポンサーサポートの活用
- いちごECOエナジーの開発と運営実績に裏付けされた高度技術によるオペレーション
- 資産運用の豊富な実績を有するいちご投資顧問の専門知識やノウハウを活用



ポートフォリオの状況

発電所一覧

(2025年6月30日時点)

No.	発電所名	所在地	取得時期	帳簿価格 (百万円)	評価額 (百万円)	パネル出力 (MW)	売電価格 (円 / kWh)	投資比率 (%)
E-01	いちご桐生奥沢ECO発電所	群馬県桐生市	2016年12月	270	300	1.33	40	4.08%
E-02	いちご元紋別ECO発電所	北海道紋別市	2016年12月	279	304	1.40	40	4.21%
E-03	いちご室蘭八丁平ECO発電所	北海道室蘭市	2016年12月	266	286	1.24	40	4.02%
E-04	いちご遠軽清川ECO発電所	北海道紋別郡遠軽町	2016年12月	232	229	1.12	40	3.50%
E-05	いちご伊予中山町出渕ECO発電所	愛媛県伊予市	2016年12月	254	291	1.23	40	3.84%
E-06	いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所	北海道標津郡中標津町	2016年12月	422	465	1.93	40	6.37%
E-07	いちご安平遠浅ECO発電所	北海道勇払郡安平町	2016年12月	254	272	1.16	40	3.84%
E-08	いちご豊頃ECO発電所	北海道中川郡豊頃町	2016年12月	242	282	1.02	40	3.66%
E-09	いちご名護二見ECO発電所	沖縄県名護市	2016年12月	1,911	2,202	8.44	40	28.87%
E-10	いちご遠軽東町ECO発電所	北海道紋別郡遠軽町	2016年12月	264	275	1.24	40	3.99%
E-11	いちご高松国分寺町新居ECO発電所	香川県高松市	2016年12月	707	727	2.43	36	10.68%
E-12	いちご都城安久町ECO発電所	宮崎県都城市	2016年12月	294	330	1.44	36	4.44%
E-13	いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所	愛知県豊川市	2016年12月	304	308	1.80	32	4.59%
E-14	いちご山口秋穂西ECO発電所	山口県山口市	2017年7月	358	385	1.24	40	5.41%
E-15	いちご山口佐山ECO発電所	山口県山口市	2017年7月	557	633	2.35	36	8.41%
合計(15発電所)				6,620	7,292	29.43	38.7	100.00%

※「評価額」は、2025年6月30日を評価基準日とするPwCサステナビリティ合同会社より取得したバリュエーションレポートに記載されたレンジによる評価額の中間値

※「パネル出力」は、各発電所に使用されている太陽光パネル1枚当たりの定格出力(太陽光パネルの仕様における最大出力)をパネル総数で乗じて算出

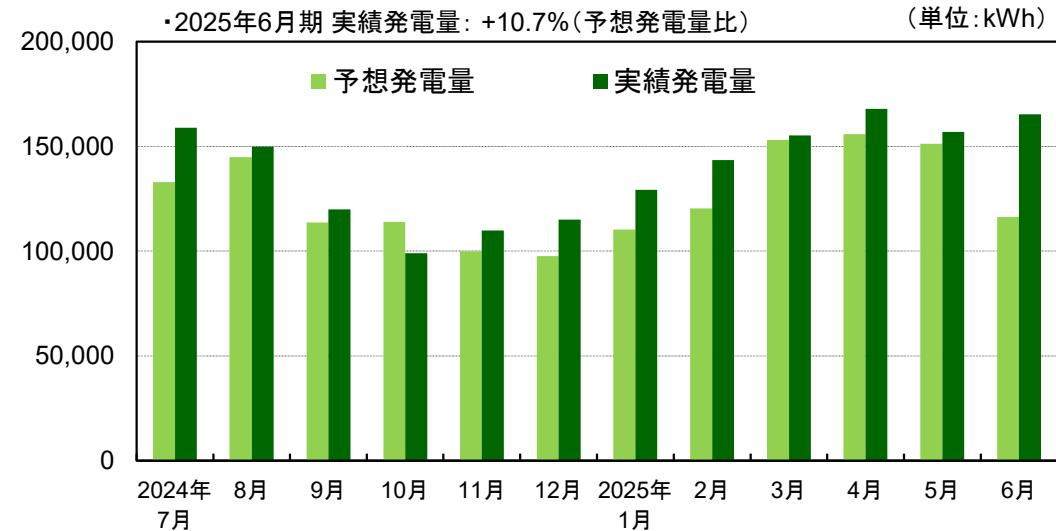
※「売電価格」は、固定価格買取制度のもとに決定した、電気事業者の買い取り価格

※「投資比率」は、帳簿価格ベース

個別発電所の概要

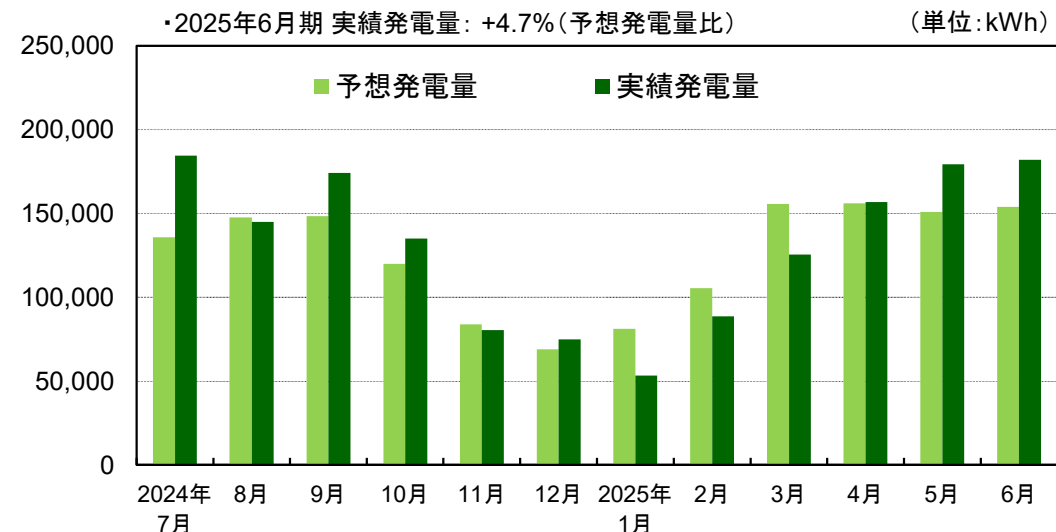
■ E-01 いちご桐生奥沢ECO発電所

所在地	群馬県桐生市 新里町奥沢字日光
土地面積	27,588.00m ²
運転開始日	2013年9月30日
パネル出力	約1.33MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2033年9月29日
売電先	東京電力エナジー パートナー(株)



■ E-02 いちご元紋別ECO発電所

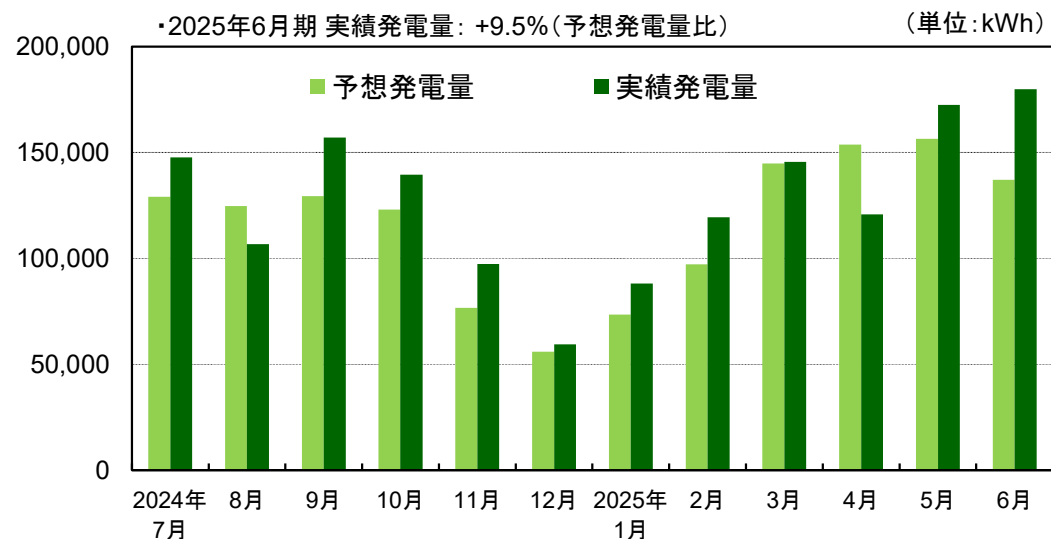
所在地	北海道紋別市元紋別
土地面積	48,946.89m ²
運転開始日	2014年2月3日
パネル出力	約1.40MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年2月2日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

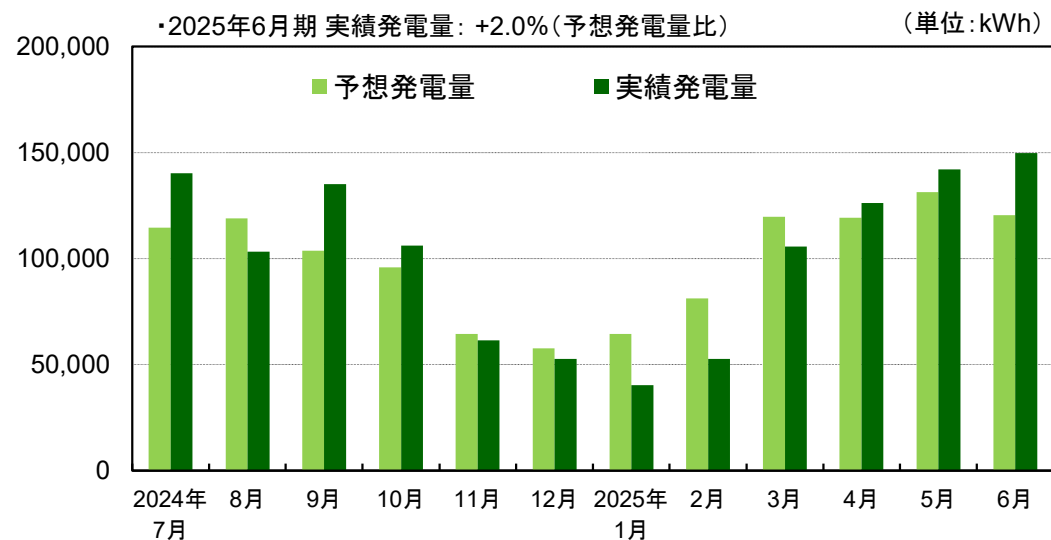
■ E-03 いちご室蘭八丁平ECO発電所

所在地	北海道室蘭市八丁平
土地面積	35,801.00m ²
運転開始日	2014年3月3日
パネル出力	約1.24MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2034年3月2日
売電先	北海道電力(株)



■ E-04 いちご遠軽清川ECO発電所

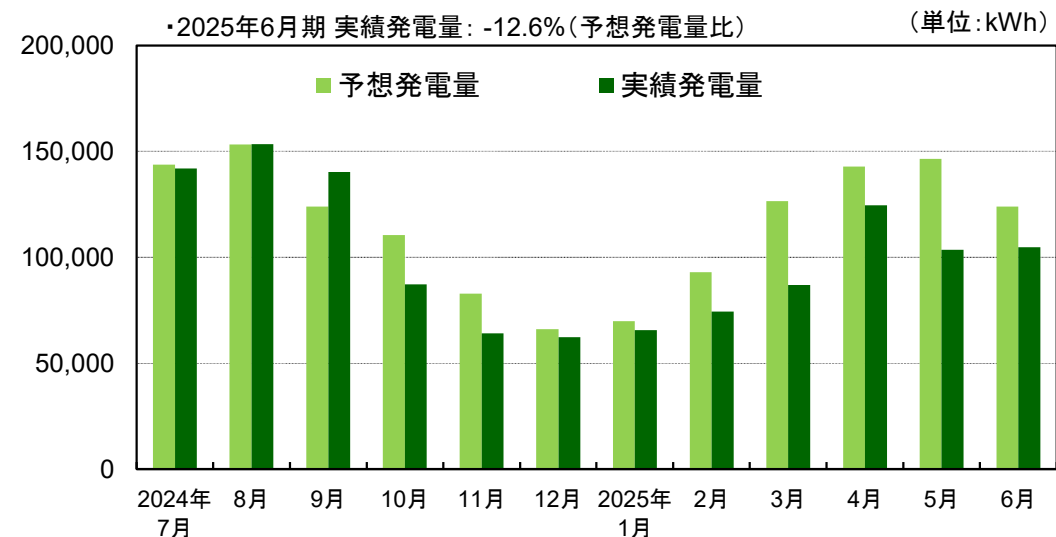
所在地	北海道紋別郡 遠軽町清川
土地面積	27,164.16m ²
運転開始日	2014年3月4日
パネル出力	約1.12MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2034年3月3日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

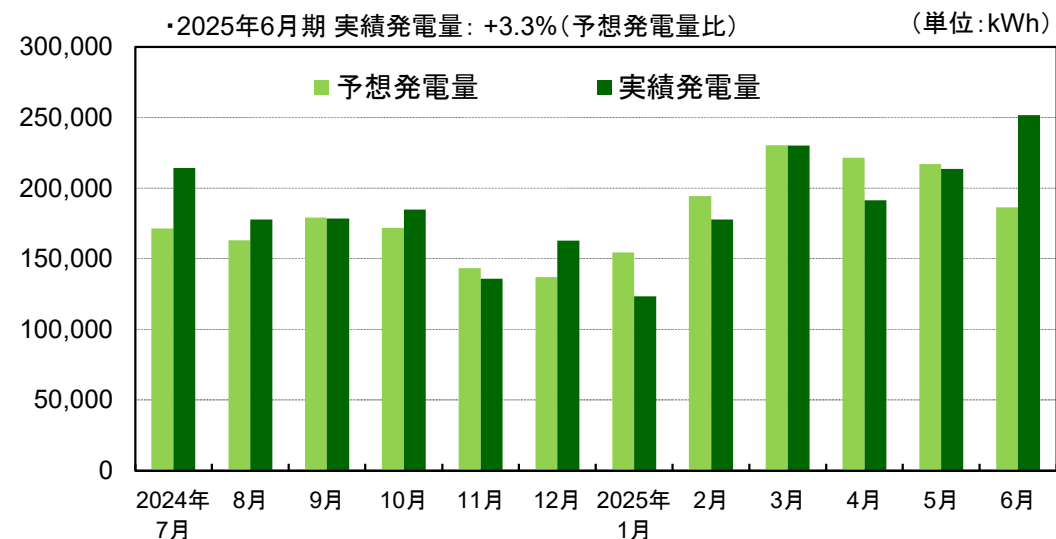
■ E-05 いちご伊予中山町出渕ECO発電所

所在地	愛媛県伊予市 中山町出渕
土地面積	26,260.77m ²
運転開始日	2014年4月2日
パネル出力	約1.23MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年4月1日
売電先	四国電力(株)



■ E-06 いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所

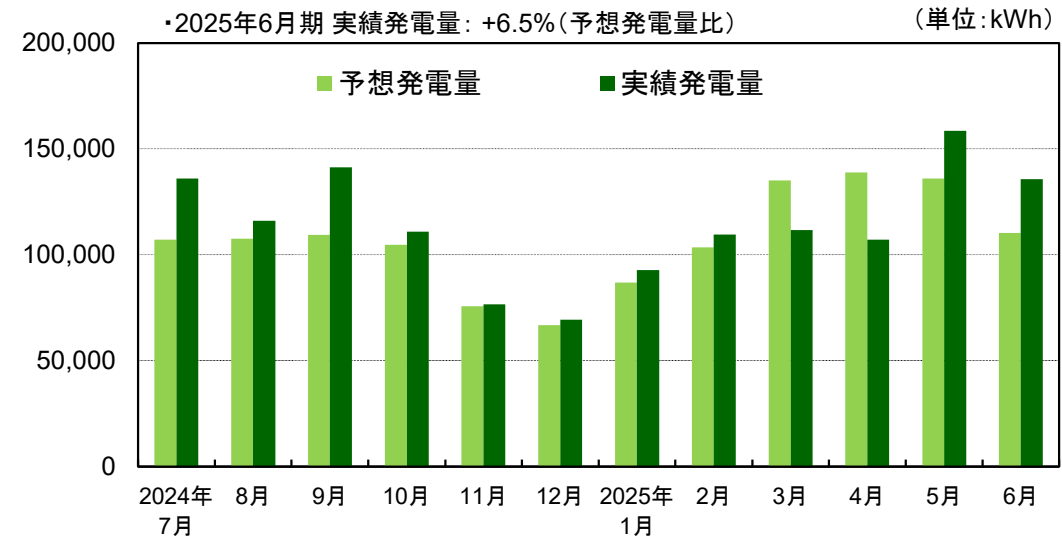
所在地	北海道標津郡 中標津町緑ヶ丘
土地面積	54,870.00m ²
運転開始日	2014年11月4日
パネル出力	約1.93MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年11月3日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

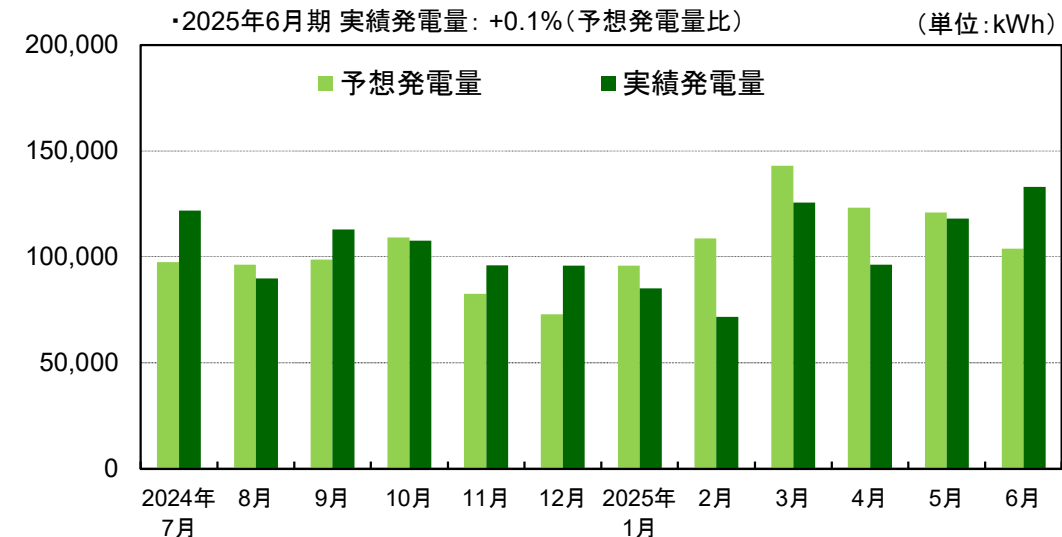
■ E-07 いちご安平遠浅ECO発電所

所在地	北海道勇払郡 安平町遠浅
土地面積	29,730.72m ²
運転開始日	2014年12月2日
パネル出力	約1.16MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年12月1日
売電先	北海道電力(株)



■ E-08 いちご豊頃ECO発電所

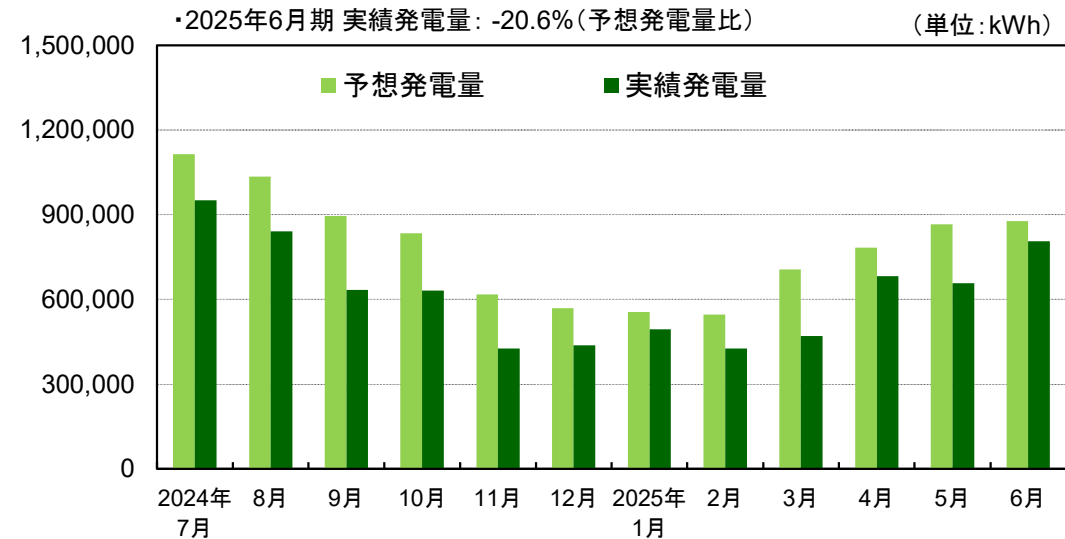
所在地	北海道中川郡 豊頃町豊頃
土地面積	29,004.00m ²
運転開始日	2014年12月4日
パネル出力	約1.02MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年12月3日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

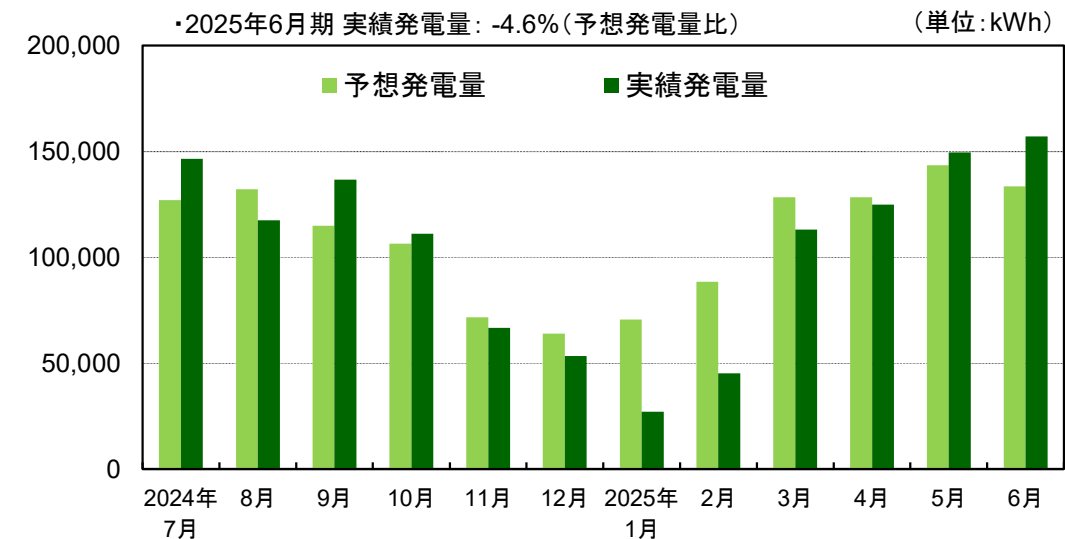
■ E-09 いちご名護二見ECO発電所

所在地	沖縄県名護市字二見
土地面積	146,217.00m ²
運転開始日	2015年2月2日
パネル出力	約8.44MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2035年2月1日
売電先	沖縄電力(株)



■ E-10 いちご遠軽東町ECO発電所

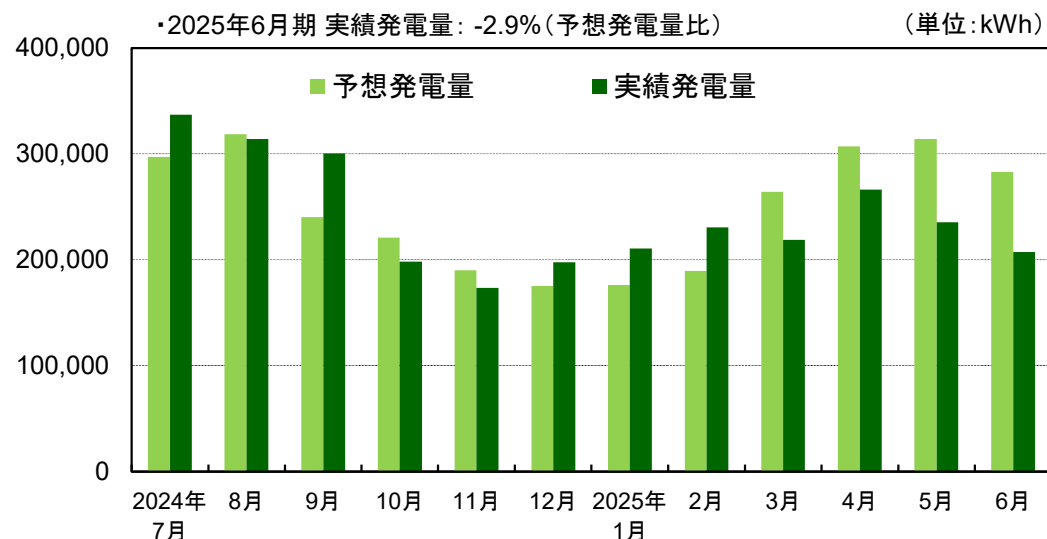
所在地	北海道紋別郡遠軽町東町
土地面積	46,329.00m ²
運転開始日	2015年2月3日
パネル出力	約1.24MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2035年2月2日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

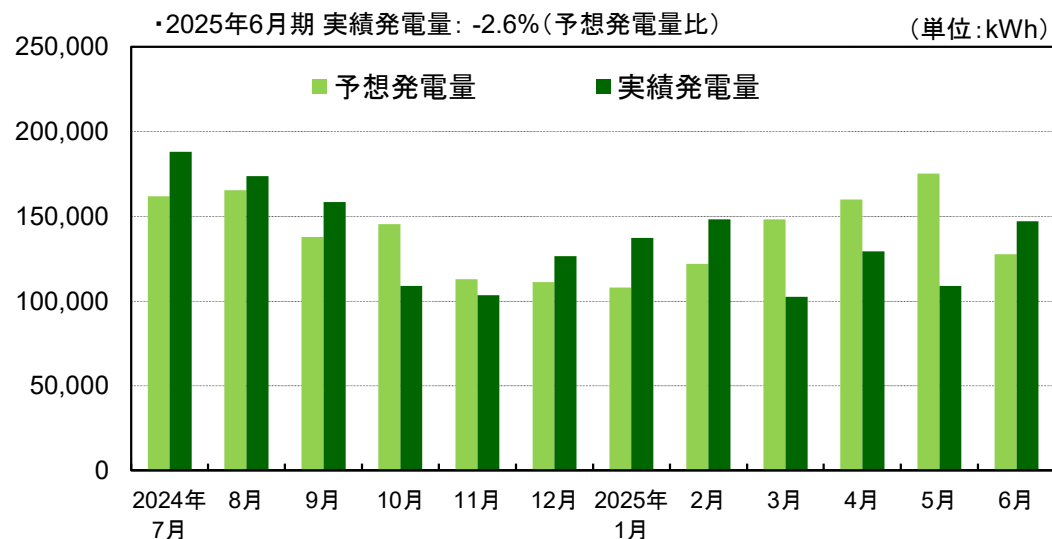
■ E-11 いちご高松国分寺町新居ECO発電所

所在地	香川県高松市 国分寺町新居
土地面積	79,340.00m ²
運転開始日	2015年6月2日
パネル出力	約2.43MW
売電価格	36円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年6月1日
売電先	四国電力(株)



■ E-12 いちご都城安久町ECO発電所

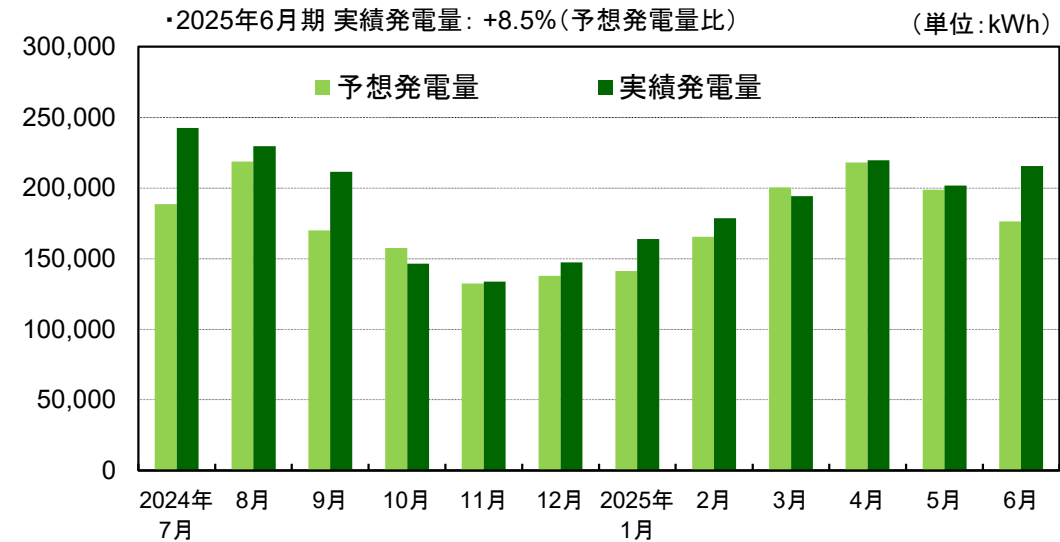
所在地	宮崎県都城市安久町
土地面積	94,165.00m ²
運転開始日	2015年7月8日
パネル出力	約1.44MW
売電価格	36円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年7月7日
売電先	九州電力(株)



個別発電所の概要

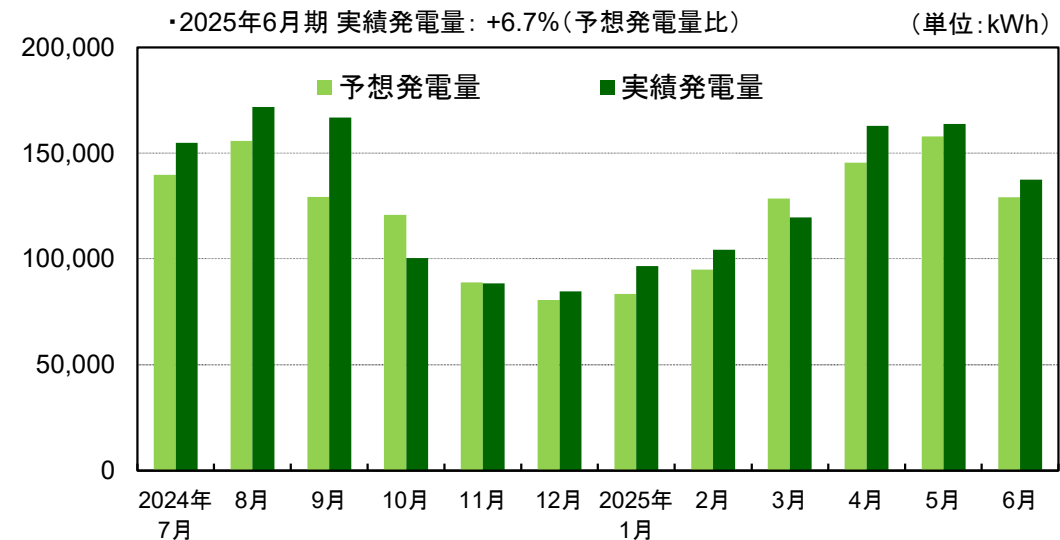
■ E-13 いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所

所在地	愛知県豊川市 御津町佐脇浜
土地面積	19,393.00m ²
運転開始日	2015年9月16日
パネル出力	約1.80MW
売電価格	32円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年9月15日
売電先	中部電力ミライズ(株)



■ E-14 いちご山口秋穂西ECO発電所

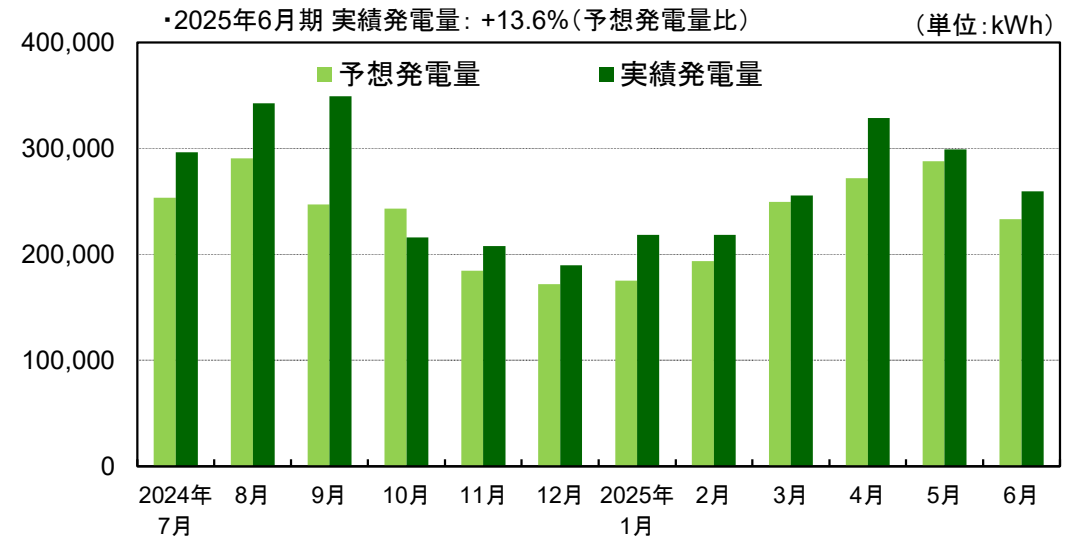
所在地	山口県山口市 秋穂西字南横浜
土地面積	19,815.38m ²
運転開始日	2015年12月7日
パネル出力	約1.24MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年12月6日
売電先	中国電力(株)



個別発電所の概要

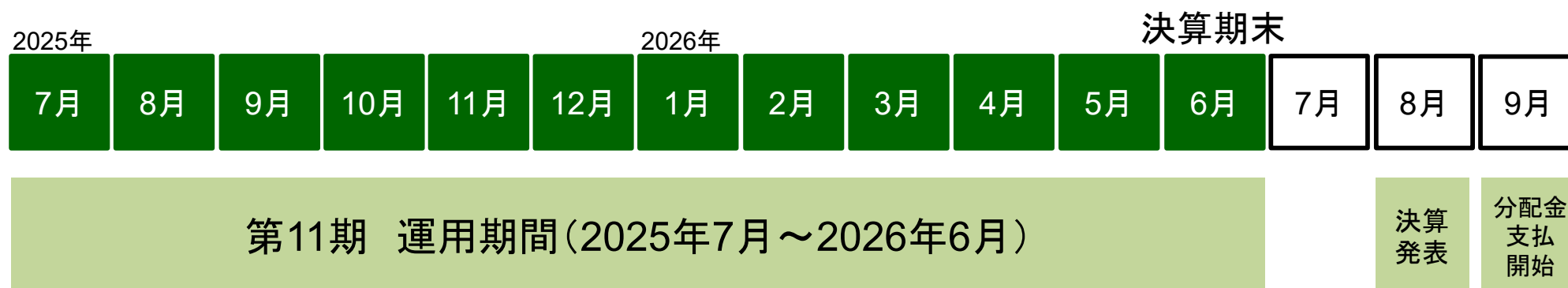
■ E-15 いちご山口佐山ECO発電所

所在地	山口県山口市 佐山字浜附二
土地面積	43,621.00m ²
運転開始日	2016年4月6日
パネル出力	約2.35MW
売電価格	36円 / kWh
現売電契約 終了日	2036年4月5日
売電先	中国電力(株)



年間スケジュール

季節変動による決算期単位の収益のぶれを考慮し、各期の営業期間を1年間と定め、決算期は6月



第11期(2026年6月期)の権利付き最終取引日は、2026年6月26日(木)

投資法人概要

2025年6月30日時点

■ 投資法人

名称	いちごグリーンインフラ投資法人
証券コード	9282
所在地	東京都千代田区丸の内2丁目6番1号
執行役員	伊藤 菜々子
決算期	6月(中間決算期は12月)

■ 資産運用会社

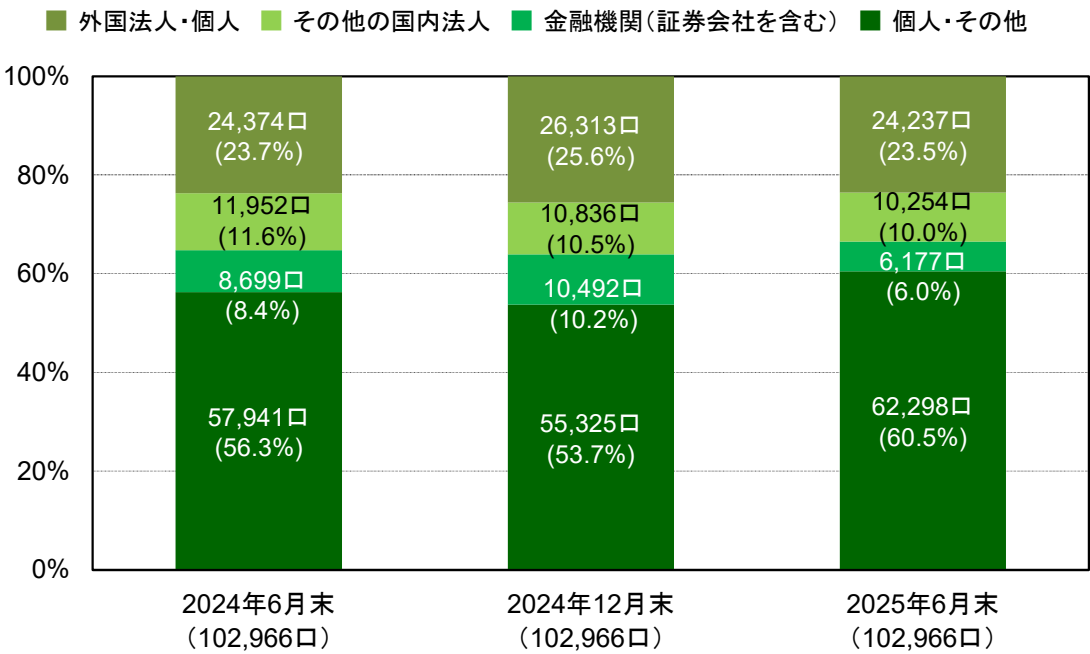
会社名	いちご投資顧問株式会社
代表取締役社長	岩井 裕志
登録・加入協会	金融商品取引業 関東財務局長(金商)第318号 (投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業) 一般社団法人投資信託協会会員

投資主の状況(2025年6月30日時点)

■ 主要投資主

氏名または名称	所有 投資口数	比率
1 いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	22,677	22.0%
2 いちご株式会社	6,000	5.8%
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,900	3.8%
4 個人投資主	702	0.7%
5 富士電波工業株式会社	676	0.7%
6 個人投資主	654	0.6%
7 個人投資主	550	0.5%
8 個人投資主	520	0.5%
9 個人投資主	500	0.5%
10 楽天証券株式会社	493	0.5%
合計	36,672	35.6%

■ 所有者別投資口数



■ 所有者別投資主数

所有者区分	2024年6月末	2024年12月末	2025年6月末	
	投資主数	投資主数	投資主数	比率
個人・その他	8,057	7,719	8,450	98.1%
金融機関(証券会社を含む)	20	23	19	0.2%
都銀・地銀	1	1	0	0.0%
信託銀行	3	3	3	0.0%
その他(証券会社を含む)	16	19	16	0.2%
その他の国内法人	92	88	88	1.1%
外国法人・個人	41	56	54	0.5%
合計	8,210	7,886	8,611	100.0%



Make More Sustainable

サステナブルインフラの「いちご」

【お問合せ】

いちご投資顧問株式会社

いちごグリーンIRデスク

TEL: 03-4485-5233

ir_green@ichigo.gr.jp

www.ichigo-green.co.jp

